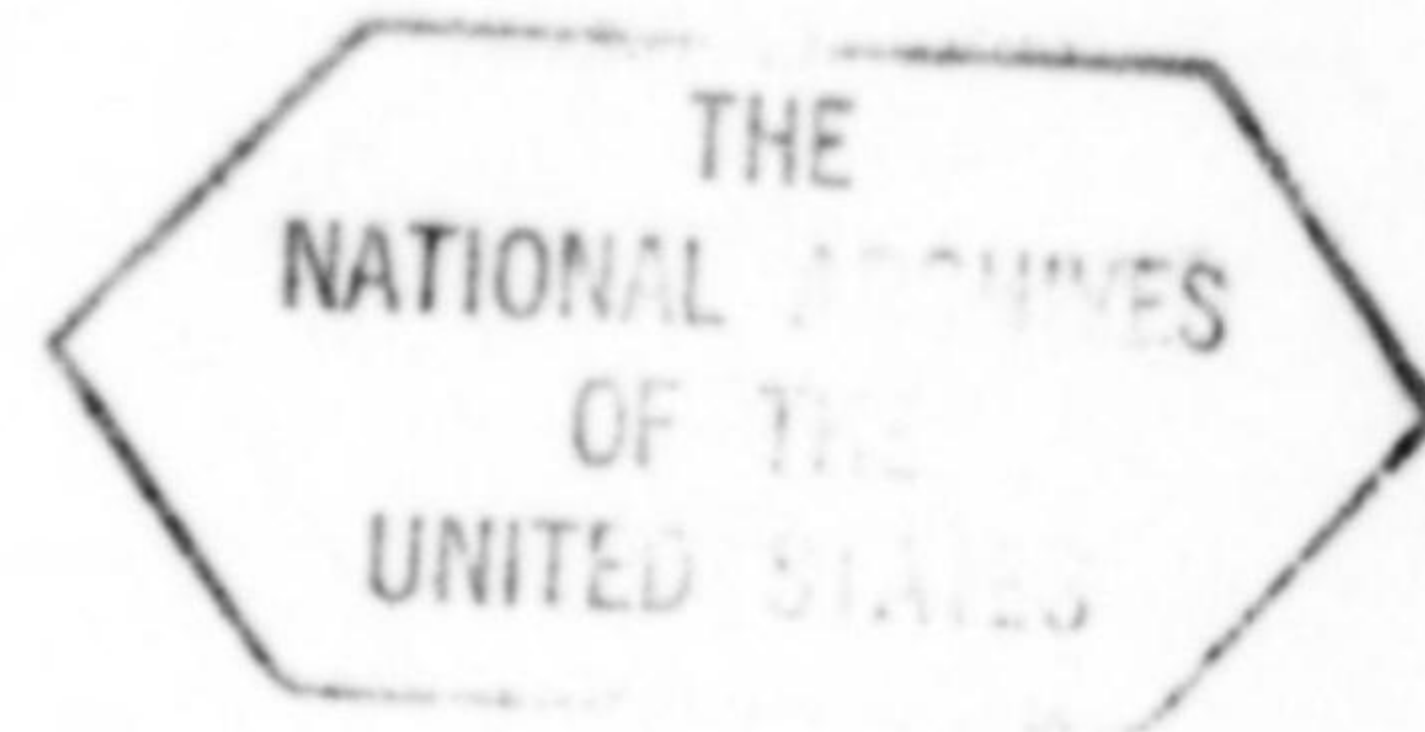


**GHQ/SCAP Records(RG 331)**  
**Description of contents**



- (1) Box no. 2785
- (2) Folder title/number: (5) (end)  
 No Title
- (3) Date: \_\_\_\_\_, 1947 - Aug. 1950

(4) Subject:

| Classification | Type of record |
|----------------|----------------|
| 9990           | t, v           |

(5) Item description and comment:  
**Kanto**

(6) Reproduction:  Yes  No

(7) Film no.

Sheet no.

昭和二十五年八月(稿)

地方自治制度視察  
渡米報告書

神奈川県知事 内山岩太郎

謹啓 不肖先般全国知事代表の資格を以つて自治制度視察の為米国視察の途に就きま  
したが、御蔭を持つて満三ヶ月の日程を無事終了八月十日帰国致しました。

視察の結果に付皆様の御参考にこ存じ別紙報告書を作成した次第であります。が短時日  
の視察研究に対し卑見をも附記致しました。為誠に不出來の感がありますが敢て光覽に  
供し御叱正を仰ぐ次第であります。

猶乍末筆謹んで貴台の御健康を祈上げ併せて日本の民主政治並に地方自治の為御協力  
ご御指導を仰ぐものであります。

敬 具

昭和二十五年八月

内 山 岩 太 郎

各 位

目次

|     |                 |    |
|-----|-----------------|----|
| 第一  | 緒言              | 1  |
| 一   | 市町村の自治に就いて      | 3  |
| (1) | 米国の地方自治団体       | 4  |
| (2) | 弱体市長並に参事会制      | 5  |
| (3) | 委員制             | 5  |
| (4) | 強力市長並に参事会制      | 5  |
| 二   | 市参事会並に事務局長制     | 6  |
| 三   | 制度の重要性          | 7  |
| 四   | 技術家の選任          | 8  |
| 五   | 事務局長制は簡明である     | 9  |
| 六   | 市長の地位           | 9  |
| 七   | 市長及事務局長の待遇      | 9  |
| 八   | 私の考え方           | 9  |
| 九   | 県に就いて           | 10 |
| 一〇  | 地方自治と県の地位       | 11 |
| 一一  | 県と市町村の関係        | 11 |
| 一二  | 道州制の問題          | 11 |
| 一三  | 自治政治と財政         | 12 |
| 一四  | 地方自治と司法制度       | 13 |
| 一五  | 知事の地位           | 13 |
| 一六  | 知事の選挙と補缺        | 15 |
| 一七  | 自治と議会関係         | 16 |
| 一八  | 知事会             | 17 |
| 一九  | 地方自治に関する私設団体と大学 | 18 |
| 二〇  | 民主政治と投票         | 20 |
| 二一  | 結言              | 21 |

## 緒言

日本は新憲法に於て文化的平和国家の建設を強張すると共に政治の基盤を民主々義に置き地方分権を確立することを規定し、又広汎な地方自治法に於て詳細に地方自治の在り方を規制しているのであるが、それが今日びつたり国民の身についているかと言えば正直なところまだ田舎者に袴を着せた様な感じが無いでもない。

私は今日迄地方自治法の勉強よりは食糧問題や其の他の緊急要務に追われ、唯県民の幸福と母国の再建と言ふ一念で四年餘に亘る大切な神奈川県知事の職を汚して来た。

今回偶然にも現代世界民主々義の本場と言われる米國本土に於て民主政治の実体を把握すべく視察研究の第一陣を承わることになつたのは身に餘る光榮であると同時に責任の甚だ重きを感じるものである。

自治制度研究の為に渡米すると言うことは、昨年の夏一寸聞いたのであつたが其のまゝ年を越したので既に沙汰止みのことかと考えていた矢先、急に五月に出発することになつたが、時期から見れば理想的であつた。それは県としては新年度予算も成立し、大方の仕事が一応けりがつき追々暑中休暇も近づくと言ふ時であつたからである。

幸県議会方面の了解も充分つき議員諸士から好感を以つて送られ県庁職員を始め一般県民からも激励と喜びを以て送り出されたことは誠に有難いことで、平素専心県民の為にと驚馬に鞭うつて来た私にとり今度の渡米は人生の再出発だと云う様な気持ちさえ湧き出て来たのであつた。

視察団一行の陣容は市町村の代表や自治に関係ある人と云うのであるが、何れも北米に経験のある人なので、旅行が短時日である丈に通訳の時間が省けたこと丈でも日本人一般視察団に比し二倍には

勘定が出来全体として頗る気楽な旅行が出来た訳である。又最初十数ヶ所の都市を歴訪することになつていたので半減し、一都市に比較的長く滞在して視察研究を自由にさせて貰つたことは結局善い結果となつたものと思われるし、飛行機に依らぬ汽車旅行も一見時間が惜しい様にも思われたが忙しい旅行を多少でも緩和し餘り映画的でなくしたことは良かったと思われる。旅行の終り頃、桑港とロスアンゼルスの間を飛行機で往復したが一寸假寝をしている間に目的地に着いてしまうので汽車旅行に較べると品物を遠くから見ると近寄つて手で觸つて見る位の差はあると思われる。

又旅行中時間は短く共、汽車、電車、タクシーと凡ゆる交通機関を利用し、屢々友人知人から自家用車の提供を受け地方の隅々迄自由自在に視察することが出来又大宴会とか公式の会合に列席する機会は無かつたが度々十数人の圓卓会議で勝手な質問討論の機会に恵まれ先づ痒い所に手が届いたと云う氣持になつたことは大なる收穫と云わねばなるまい。殊に私に取つて米國第四十二回知事全体会議に臨席して公式に会議に紹介され且つ日本の全知事の名に於て一場の挨拶を述べ列席の全知事に面接会談の機会を得たことは全く予期せざる拾物であつて、米國上陸後約一ヶ月にして僅にカンサス州知事一人に会い得たことから考えると如何にそれが偶然の好機會であつたかは想像に難くないであらう。其の後シヤトル方面視察の折特にオリンピア市にワシントン州知事を訪ねた時等も別に同知事と親交のある訳ではないのに唯知事会議で会つたことから全く舊知同僚と云う感じで御互に胸襟を開いて語ることが出来たことを考え会すと國際的関係から考えても人間の繋りと云うものは眞に大切なことだと思われる。

以下私は今回の旅行に於て見聞したことを多少の卑見をも加え極めて卒直に報告して各位の御参考に資したいと思う。



## 第一 市町村の自治に就て

此の問題に就て述べるに当り、私が滞米中如何なる人々に会つたかを書き立てることは頗る絶えな  
いが簡単に如何なる都市を訪ねたかを書いて見ると次の通りである。

五月十日 ジェネラル・サルタン号にて渡米の途に就く、五月十九日 サンフランシスコ港上陸

カリフォルニア洲

サンフランシスコ市、バークレー市、サンノゼー市、ロスアンゼルス市

ミズリー洲

カンサス市

カンサス洲

首府トピカ市、カンサス市

ニューヨーク洲

ニューヨーク市、ブロンクスヴィル村

連邦首府ワシントン市

ヴァージニア洲

アーリントン郡、ハワード郡

ウエスト、ヴァージニア洲

ホワイ、サルファー、スプリングス町

イリノイ洲

シカゴ市

ワシントン州

シヤトル市、首府オリンピア市、タコマ市

サンフランシスコ港にて七月二十八日アレシデントマキンレー号に乗船帰任の途に就き八月十日横浜帰着

### 一 米國の地方自治團體

米國には State of 郡 County (郡) City (市) Town (町) Village (村) がある。

名称に就ては此の外 Borough, Township, Parish 等あるが何れも歴史的理由で或る州に丈存在するものであつて、本質的には変化なしと云い得る。曾て日本で地方行政の討議をした時、重要な参考書類の中に County を県と訳してあつたのに一驚を喫したことがあるが、米國と日本とが同様国際法上の一國家であるとするれば、日本の県は、當に米國の州に相当する、而して日本に於ては郡は既に行政上其の効用を失つてゐるが米國では歴史的経過から見ても今日でも色々の役目を果してゐる然し私に米國に於ても County なるものは廃止して差支ないものかと思ふが米國人中にも之は廃止すべしとの意見を持つてゐるものがある。

従つて私は日本に餘り関係のない County のことを深く研究することを止め主として市町村に就いて見ることにする。

現在米國に於ける市町村行政の在り方を見るに大方左の四種類に属してゐる。

- (1) 弱体市長並に參事會制
- (2) 委員制
- (3) 強力市長並に參事會制

### (4) 市參事會並に事務局長制

最初私は米國の都市には民主政治に依る理想的な機構があつて一律に之を採用してゐるものと簡單に想像してゐたのであるが實際に當つて見ると各市町村が人間の面相の変つてゐる如く一つ一つ異つた機構で自治政治を行つてゐるのであつて何れの市町村でも自分の所の機構が一番良いと思ひ込んでゐるらしいのである。但し其の間に於ても常に研究は怠らない。其の結果近年の傾向は委員制や市長並に參事會制から事務局長制に転化するものが多くなつて來たのである、以下各制度に就て簡明に特徴を記すると

#### (1) 弱体市長並に參事會制

弱体市長並に參事會制は市長並に市參事會員が公選である上に市の主要役員が皆公選たることを必要とし且つ市長に依る部課長の任命も參事會の協賛を要することになつてゐる、然し此の制度は民主主義政治は何でも選挙に依るのが良いとした十九世紀の所産で第一此の制度は政治取引が多く行われ行政上の主腦部に適任者を得難く又責任の歸趨が明でない等の理由で廿世紀に入つてからは段々衰微し此の制度を採用してゐる市町村は尠くなつたと云う。

#### (2) 委員制

此の制度は多くの場合五人の委員を選出し各委員は夫々市町村行政の一部門を担当する。此の制度は弱体市長制の欠点を持つてゐる上に更に此の制度獨特の弊害を伴う、即ち、議決機關と執行機關を兼務、混同する結果市政の混乱を齎すのみならず責任の歸趨が明かでない為に市政殊に財政上の紊亂を免れず此の制度も現在餘り歓迎されてゐない此の制度を採用してゐる市町村の數も尠い様である。

## (3) 強力市長並に参事會制

此の制度は前二者に比較し相当の成功を納めたので約四十年前には米国市制協會に於て模範市制と折紙を附けたことがあつたのである。又市町村としても前記二種の制度で失敗してから此の制度を採用したものが尠くなつたのである。現在数の上からすれば此の制度が一番多く又日本の現行法に酷似しているので少しく其の内容に就て調べて見る。此の制度は

1. 市参事會は公選に依つて組織する。選挙は小選挙区制と全体選挙区制とあり之を併用するものもある。
2. 市長は全体選挙区から選出する。
3. 市長は行政部門の担任者を任免する権限を有す。
4. 市長は市会の決議に対し拒否権を持つ。
5. 市長は参事會の協賛を得る為市の予算を編成する。

米国に於て此の制度の缺点として挙げてゐる諸点を見ると

1. 市長として行政上の執行権行使の才能を持ち且つ其の仕事に就て充分の智識を持った人を選出することが頗る困難であること。
2. 稍々もすると市長は其の地位を利用し、個人的に有力な政治機関を造り上げる危険がある。即ち公選の市長が同時に市の行政に堪能であつた場合は至極結構であるがそれは極めて稀である。猶假令此の種の人を得た場合でも市長となればどうしても政治と離れることが困難になる従つて次の選挙の為に考える外過去の選挙に対し全く無関係とはなり得ない。

又強力市長制は市参事會との關係に圓滿を缺くことが屢々起り得る其の結果は兩者の対立となり肝心な市政の運営に支障を來たすことになる。

米国では強力市長制に依つて善き市政を得ることは寧ろ偶然であるとの意見が強くなり遂に一九一六年曾て強力市長制を以て模範的なりとした説を棄て新たに事務局長制とも稱すべき新制度を奨励する傾向になつた Council Manager Form がそれである。

## (4) 市参事會並に事務局長制

今此の制度を推薦する学説について見ると其の特徴は次の通りである。

1. 選挙に依る市の理事者の数を尠くすると同時に選出される人物は一般人から注目と尊敬を受けるが如き重要人物たらしめる。
2. 市参事會の議員数を少数に限定し之れに市政の全權を依托する。
3. 参事會をして専門の事務局長を選任せしめ之れに市の全事務を統轄させる。

此の場合参事會の任務は非常に重要であつて参事會は毎週必ず一回は事務局長と会合し其の提案や事務振を嚴重に精査監督し局長に対し承認を与えた事項に就ては参事會自身責任を執ることゝする其の結果次の成果を挙げ得る。

1. 地方自治体の負債を減じ税金を軽くすること。
2. 小額の出費を以てよりよきサーヴィスを提供すること。
3. 正直な公務員を採用すること。
4. 有能な人物を適所に配置すること。
5. 契約を正直にすること。
6. 市の行政を成るべく事務的に処理すること。

猶一九三七年乃至一九四〇年の三年に亘る米国行政調査委員會の公平な研究の結果は從來の市政機構に比較し市事務局長制は市政に対し党派的圧迫乃至影響を減じてゐる。永続的企劃の実行を



容易にし、公務員の素質を向上し且つ財政の運営をも改善している。而して其の基本的理由は單純にして少数の理事者が市の行政に就き全面的に共同の責任を取るにありとの結論に達したとされている。

抑々米国の歴史を顧みるに一九〇〇年即ち建国以來約百年間と云うものは始ど自治制度の方式らしきものは無かつたと言える。そして廿世紀に入つてからの四十年間に長足の進歩を見たのである。

米國に於ける昔の移植民者は広漠たる土地で勝手に驕足を伸ばし自分で自分のことを片附けると云うのが第一の主義であつた、それが後になつて自分一人でやるよりも共同の力でやる方が良いと云う事態になり公共的事務が始まり今日に於ては殆んど大部分の市町村費は昔の人の考えたことすらない様な仕事の為に支出されているのである。此等の公務は科学的技術とか予防衛生とか云う技術的な問題を主とし、それは政治問題ではないのである。即ち最近米國で発達しつつある市事務局長制は技術万能とも云うべき現時代に於て古來あり来たりの制度の弱点を排除し地方自治に対し技術的運営を保障せんとするものと考えられる。

## 二 制度の重要性

政治の形体は大工の道具と同様で如何に腕利の大工でも悪い道具を持たされては立派な道具を持つた中位の大工にも及ばない。従来米國の地方行政に於て失敗したのは良き行政家は之を任命し、政治家は市民の代表として之を選挙すると云うことを忘れ行政をやる人は総て選挙に依らうとしたからであると云われている。

日本も此の弊に陥らぬ様大いに警戒する必要がある。

## 三 技術家の選任

米國では從來悪く言えば市長から、大殺迄選挙で定めると云う癖があつたと云われているが教育長、衛生部長、水道部長等大方専門の智識を必要とする。選挙民は政治家の言動に依つて誰を自分の代表者として選ぶべきか大凡判断が付く、然し専門家として誰か有能か又適任かは容易に分るものではない。従つて専門家の選擇は選挙よりは推薦とか任命の方が結果がよいと思われる。

## 四 事務局長制は簡明である

事務局長制の善い所は、選挙民が先づ少数の参事会員（市長を含む）を選出、この参事会が自由に事務局長を選任又は免職する。

事務局長は事務に練達の上で別に選挙に頭を使うことなく事務に専念し事務担当者を自由に採用する。

参事会は局長を任免することは自由でも局長の仕事には干渉しない又局長を差置いて事務吏員に命令するが如きことは絶対にしない。

## 五 市長の地位

市（町村）が事務局長制を採用する結果、市長のする仕事が無くなり又はせぬか又市長の名声が失われはせぬかとの懸念もあるがそれは杞憂である。

市長は技術的な行政面に觸れる必要がなくなり又陳情を受ける数も尠くなるであろうが市長は専ら市参事会の運営に当り政治を指導することになる。即ち市長は市参事会の議長となり市の行政に就て一般選挙民に対し説明を与え又市の代表者として凡ゆる行事の先頭に立ち善い意味での市の政治的指導者となるのである。

## 六 市長及び事務局長の待遇

米國では市長とか、市参事会員は政治的且つ名譽職的考え方から其の報酬は例外はあるが比較

容易にし、公務員の素質を向上し且つ財政の運営をも改善している。而して其の基本的理由は單純にして少数の理事者が市の行政に就き全面的に共同の責任を取るにありとの結論に達したとされている。

抑々米国の歴史を顧みるに一九〇〇年即ち建国以來約百年間と云うものは始ど自治制度の方式らしきものは無かつたと言える。そして廿世紀に入つてからの四十年間に長足の進歩を見たのである。

米国に於ける昔の移植民者は広漠たる土地で勝手に驕足を伸ばし自分で自分のことを片附けると云うのが第一の主義であつた、それが後になつて自分一人でやるよりも共同の力でやる方が良いと云う事態になり公共的事務が始まり今日に於ては殆んど大部分の市町村費は昔の人の考えたことすらない様な仕事の為に支出されているのである。此等の公務は科学的技術とか予防衛生とか云う技術的な問題を主とし、それは政治問題ではないのである。即ち最近米国で発達しつつある市事務局長制は技術万能とも云うべき現時代に於て古来あり来たりの制度の弱点を排除し地方自治に対し技術的運営を保障せんとするものと考えられる。

## 二 制度の重要性

政治の形体は大工の道具と同様で如何に腕利の大工でも悪い道具を持たされては立派な道具を持つた中位の大工にも及ばない。従来米国の地方行政に於て失敗したのは良き行政家は之を任命し、政治家は市民の代表として之を選挙すると云うことを忘れ行政をやる人は総て選挙に依らうとしたからであると云われている。

日本も此の弊に陥らぬ様大いに警戒する必要がある。

## 三 技術家の選任

米国では従来悪く言えば市長から、大殺迄選挙で定めると云う癖があつたと云われているが教育長、衛生部長、水道部長等大方専門の智識を必要とする。選挙民は政治家の言動に依つて誰を自分の代表者として選ぶべきか大凡判断が付く、然し専門家として誰か有能か又適任かは容易に分るものではない。従つて専門家の選擇は選挙よりは推薦とか任命の方が結果がよいと思われる。

## 四 事務局長制は簡明である

事務局長制の善い所は、選挙民が先づ少数の参事会員（市長を含む）を選出、この参事会が自由に事務局長を選任又は免職する。

事務局長は事務に練達之士で別に選挙に頭を使うことなく事務に専念し事務担当者を自由に採用する。

参事会は局長を任免することは自由でも局長の仕事には干渉しない又局長を差置いて事務吏員に命令するが如きことは絶対にしない。

## 五 市長の地位

市（町村）が事務局長制を採用する結果、市長のする仕事が無くなり又はせぬか又市長の名声が失われはせぬかとの懸念もあるがそれは杞憂である。

市長は技術的な行政面に觸れる必要がなくなり又陳情を受ける数も尠くなるであらうが市長は専ら市参事会の運営に当り政治を指導することになる。即ち市長は市参事会の議長となり市の行政に就て一般選挙民に対し説明を与え又市の代表者として凡ゆる行事の先頭に立ち善い意味での市の政治的指導者となるのである。

## 六 市長及び事務局長の待遇

米国では市長とか、市参事会員は政治的且つ名譽職的考え方から其の報酬は例外はあるが比較

的尠い、然し事務局長には相当高い給料を拂つてゐる。

ヴァージニア州ノーフォーク市では年俸二〇、〇〇〇弗又カンサス市のクッキングハム氏はハー  
トフォード市から年俸二五、〇〇〇弗で来て呉れと頼まれたが断つたと云う。

### 七 私 の 考 え 方

以上の調査観察から私は次の考え方を持ち日本に於ても実行し得ることであるから速に実行せられんことを希望する、即ち

日本の現行市町村制は其の自治体の大小を問はず餘りに政治的考慮が多過ぎる。是はもつと事務的に道路、水道、電気、教育、衛生、警察、消防等市町村民の利害幸福を主眼とした實際的なものに力を入れる様仕向ける必要があると思う。其の為先づ市町村会議員の数を思切つて制限すべきである。僅の例外はあるが（紐育、シカゴ等）米国では市参事会は大都市でも三人乃至九人である。

日本でも其の程度で充分ではないかと思う。

猶地方自治の要点は先づ優秀な人を市民の代表者として選出すること而して其の人が悪かつたらば、次の選挙で取り替へること、自分で選んで置き乍ら嫌だからと云つて（普通の犯罪などの場合は別）直ぐリコールなど持出して騒ぐことは自己否定で民主政治を実施し享有する資格なき市民と云わねばならない。従つて今後市民は地方の政治に関心をもち自己の責任を持つて立派な政治家を選出する様平素から心懸けねばならない。

又日本に於ても従来市の町村長中心主義から一歩進んで事務局長制を取入れてもよいのではないか、唯其の際一律前進の形を取らず最初に先づ幾つかの市町村で試験して見ることがよいと思われる、其の為地方自治法を改正し地方に対し制度の選擇を自由にすべきであると思う。

## 第二 県 に 就 て

### 一 地方自治と縣の地位

米国の歴史では、英国の植民地であつた幾つかの州が協力して独立戦争を戦つた後各州協議の上連邦を組織し各州を土台として一つの国家を建設したのである。今日に於ても連邦政府の権限は米国内各州の委託に依りて発生してゐると云つても差支ない。日本の場合は廢藩置縣の行われた以前にすれば地方の勢力が相当強かつたことが想像されるのであるが明治憲法下に於ては縣は中央政府の代行機関と云つた形であつた。それにしても政治の中心としては地方に於ては縣が断然其の中樞を為して来たものと思われる。今日新憲法の下に於て地方分権、地方自治が益々に叫ばれつゝある時中央政府の動向は必ずしも之を歓迎しない依然中央集権を希望している傾向がある。従つて地方自治を理想とするものは好むと好まざるに拘らず或る程度抗争の覺悟を以つて自治を主張し、自治を行うに相応しい努力を重さね實力を養成しなければならぬものと思う。

一方最近動もすれば市町村の自治を強調する結果市町村は縣がなく共立派に自治が成立つ如く早合点したり、大都市は大都市で独立が出来様な考え方をする傾向が見受けられるが何れも餘りに目前の利害に捕われ好利的であつて大局を誤る虞があると云わねばならぬ。

大都市と云つても東京を除けば人口五六百万の問題であり、其の内容に至つては頗る複雑であり利害共通の点に至つては頗る小さいものである。又一般都市に至つては其の地方地方に依つて利害必ずしも一致せず共通の利害を以つて大なる運動を起すには多くの障害と疑問を残すのである。元來縣は大都市をも含めた都市町村の綜合体であつて、其の内容とする分子と綜合体とが相反すると云うのは意味をなさない様に考えられる。私も時々県と云う一つの機関が地方自治の上に邪魔物扱にされる

様な例を知らぬ訳ではないが、これは県の行政が人に依つて運営される為時々不心得なる吏員の為其の目標を離れ、自治の邪魔をするが如き特殊な例が現われるのであつてこれは県自体進んで矯正すべきであると同時に一二の例を取上げて県の存在を云々し、又は邪魔物視することは当を得ていないと云うべきである。

又現在日本には四十以上の県があるが、中には相当弱体であつて今後の文化生活に一人歩きは困難と思われぬものもないとは云えぬ。これは進んで合同なり合併すべきである。何れにせよ県は其の内に抱擁する市町村の総合調製の機関であり、中央政府に対しては単独又は連合の力を以つて当る最も有力な政治団体であると云わねばならぬ。故に凡そ地方分権を論ずる場合県の立場程強いものはないと私は思う。小異を棄て、大同に就く態度を以つて全国の県が協力する場合それは正に日本八千万国民其のものであるからである。従つて日本の民主政治を論じ地方自治の発展を念願する時先づ県の立場を明確にすることが極めて重要であると考えるのである。

## 二 縣と市町村の關係

我が国の自治制度は何処でも天降り式であり、劃一式である。大都市などが不平を云うのは寧ろ其処にあるべきで、今日の日本では都道府県など別々の名を附けて如何にも複雑の感があるが東京都は別として北海道も数県にするがよし、大阪京都の府も普通の県とすべきだと思ふ。而して百万以上の都会とか五十万以上の市には特別の権限を与え、同時に特別の義務を負わせることが適當であり之は別に考慮すべきである。新自治法に於て都道府県の長を一律知事としたことは一つの進歩であるが更に一段の改革を切望するものである。又現在過渡期にあるとは謂え県市町村が中央に対しても各個教練的態度に出ていることは財政的見地からしても反省の要なきや、県市町村が米國に於て同一建物の中で一致協力自治の為に働いている現状は学ぶべきものが多いと思ふ。私は県市町村は全国的に共同

の目的の為に協力する必要があると思ふが何よりも先づ一県間の市町村は大小強弱相互依存の關係に於て協力する必要があるが其の間綜合調整の任に當るべきで県下大多數の市町村の意思に反するが如き行動は執り得ないものと考えられる。

## 三 道州制の問題

地方分権の單位として道州制の問題があるがこれは寧ろ県を單位として統一する方がよいと思ふ。餘り貧弱な所として独立性の尠いものは適當に分割又は合併するがよい。貧弱でも独立性の強いものは強て合併すべきではないが、中央政府の援助のみを頼りに独立を主張することは中央政府の援助なるものが結局他の県の援助であることを忘れた結果であるから此の際貧しく共我慢して独立して行くか然らずんば潔く合同の方向に進むべきだと思ふ。

現在数県の利害が比較的共通であるとか又は中央政府から見れば数県を一括して連絡事務所を置くに便利なりと云つた考え方から戦時中試験した大知事制度の如きものを更めて道州制等など云う名称で復活するが如きことがあるならば、それは地方分権の趣旨に反し地方自治に逆行するものと思われ。利害共通の数県が完全に合同單一化されるならば兎に角然らざる場合は協議会を持つことに依つて充分用事は足りるので、徒らに之を統合して一大県即ち道州を組織することは結局屋上屋を架する結果となるので俄に賛成し難い。現在日本の県は領土に於て米國の州とは比較にならないが其の人口とか経済の建方等から見れば必ずしも小さ過ぎるとは謂い難い。殊に人情風俗等から相当開きがあり歴史的にも夫々特徴を持つていたので此の種の県を二三宛集めて見ても善い結果は得られまい。先づ各市町村を自治的に固め一人歩きの出来る様にし県の行政も出来る丈簡素化して見て上の話であらう。

## 四 自治政治と財政

経済的に独立の出来ない人に自主的存在が不可能なるが如く地方自治体も財政的に独立を維持し得

ないものに眞の自治は望めないのである。

日本の地方自治は今日文字の上では明となつたが財政的には全く混沌たるものである。私は今回の旅行中、コロンビア大学に於てショウプ博士に会見し且つ同行者一同と共に博士と懇談の機会を得たので博士の日本に残された勸告書は重要な勸告書であろうが聖書ではないと思うが如何と反問して見た。之れに対し博士は微笑の内には素より勸告書であり参考資料であつて命令ではない勿論聖書ではない。それ故自分は其の結果に就て実地視察する為此の夏再度渡日するとして訂正する所があれば訂正し度いと思うと答えられた。

私は短期間ではあつたが自治制度視察旁々税制に就ても細心の注意を拂つて来た。

米国の地方制度は複雑ではあるが其の間に一貫した公共自治の精神が漲り且つ極めて常識的である。財政的基礎に就ても至極常識的の様に感じられた。

市町村の財政は不動産税を基礎として、ガソリン税にしても、賣上税にしても聯邦同様スタートに於て税を基礎として、と言え、更に、州に依つては酒に対する税金で相当多額の収入を得ている所も其の何パーセントかを徴収している、州に依つては酒に対する税金で相当多額の収入を得ている所もある、即ち米国の洲(県)は洲の総税収額に於て殆んど中央政府の援助を受ける必要なき迄独立的である。知事に対し貴下の洲は中央政府に対し財政的に如何なる程度に依存するかと質問する時彼等は一樣にそれは極めて尠いといつて餘り問題にしない。問題にするのは中央政府が餘り税金を取ること、に依つて税源を涸渇し、洲の課税を困難にしはせぬかと言ふことである。尤も米国に於ても中央政府からの地方に対する交付金の額が最近急激に増加し既に相当問題となつてゐることは次の事實に依つても明である。即ち最近四年間に其の総額が年九億五千万弗から十九億五千万弗に増加した程であつて連邦政府と洲並に地方自治団体との關係に就て検討することを目的として、第八十議會で設置を見

たフーヴァー委員会も此の点に就て特に注意を拂つて居り連邦議會は一九四七年九月初めて知事代表と財政問題で協議会を開き第一回の会合はシカゴに於て知事代表一五名、下院議員十名、上院議員六名で行つた。此の会合では地方で出来ることは地方に任せ其の代り財源も之れに応じて与ふべきであることを總括的に述べているが、第二回一九四八年八月の會議では交付金の額を二割以上減じ之れに準じて財源を与えることを要求し専門委員をして更に具体案を作成せしめることになつた。

又一九四九年第四十一回の知事會議は連邦議會に対し中央と地方との關係を協議すべき委員会の設置を要求しているのである。而してトルーマン大統領も最近財務省に命じ洲並に地方自治団体と連邦政府との税務並に財政問題に就て協議せしめることとなつたのである。

之に較べて日本の地方税制は如何、日本の現状は肝心な事務配分が出来ていないのに税関係のみを先に決定したことに於て大なる過がある。其の上に大切な綜合調整の役割を演ずべき県に対し附加価値税、入場税、料飲税等数尠く且つ浮動性と偏在性に富むもの丈を割当てたことは政治的にも大なる欠点があると言わねばならない。殊に最初から明かに過大見積の数字を以つて税源を推定し一面地方財政の大半を根拠薄弱なる平衡交付金に依存せしめた点は地方自治の精神に背馳するものと言わねばならぬ。私は地方税法は再検討を要し地方自治の裏付として、量と質に於て格段強化の必要があると思ふものである。

#### 五 地方自治と司法制度

三権分立は民主政治の基本觀念に立脚し米国に於ても非常に此の点に重きを置いてゐる。日本の新憲法に於ても此の点に異議はない。

私の注意する所は米国では地方自治体に於て、検事や裁判官が公選されることである。殊に検事総長(アトリーニージェネラル)は屢々知事の候補者となり知事となることである。

検事や裁判官と言うと日本では何となく普通の人間ではない様な気がするし実際随分常識を疑われる様な場合もある様だが其の点米国では万人が認めて正しい人、立派な人、信頼し得る人と言つた様な気持ちで選挙し其の地方に於て自分等の生命財産の保護を托する訳であるから何と云つても安心の出来る人が裁判所に坐わる訳であるとして其の結果が悪ければ次の選挙で改選するのだから具合がよいと思う。

此の点は日本でも真剣に研究する必要があるのではないか。

#### 六 知事の地位

米国の知事は其の出身は必ずしも一樣でない然し連邦の下院議員を二三期やつてから知事になつてゐる者が尠くない又知事は洲に依り二期以上就任を好まぬ所もあり年令等の關係から連邦の上院に転向するものが多い素より上院議員から知事になるものもある何れにせよ米国の知事は其の州の代表者と云う丈でなく政治的中心人物であり政治的性格を多分に持つてをり其の中から屢々大統領を出す地位にあるので其の声望人物に於て其の地方としては一流の大物が揃つてゐる。

私は米国に於ける知事の社会的地位と云つたものに就て各地で質問して見たが知事仲間の席次は連邦加盟の年次で定まつてゐるので加州の力が如何に強く共東部十三州の知事の上席には着けない、又着こうとも思わないらしい。

米国の州は一応独立国の性格を持つてゐる上に知事の地位は任期中動かさないが、中央政府の各省長官は大統領の書記官であり大統領の一存で動かされ、職を止めれば日本の様に前官礼遇など云うことがないので自然日本の大臣に対する感じが出ない。其処で大臣対知事の対照論が起るのだが米国では屢々知事の中から大統領を出すのに日本では知事が中央の局長になれば出世したかの様に思われていた伝統を持つていたのでは全く御話にならない。

私は今後日本の知事も其の地方としては最高級の徳望家を知事に選出すべきで、東京で中央政府の御機嫌伺ばかりを能事とする様では到底地方自治は成長しない。知事は其の地方の住民と利害を代表するもので中央政府の役人ではなくなつたのである。日本国民の一人一人が自主的な市民であることを必要とする如く、知事も自主的な知事たることを必要とする。其の為にはそれ丈の人物が出なければ駄目であろう。

#### 七 知事の選挙と補缺

日本では知事の選挙が新しいことであつた為か自治法に選挙のことが細々と書かれてゐるが何か割切れぬものが残されてゐる。次期選挙を何日にするか。最初の選挙の時の様に現職の知事は一応辞職せよ等云う珍風景は起らぬか。

米国では知事は凡そ任期満了の三ヶ月前に次期の者を選挙するし、大統領の場合はそれ以上餘裕を置いてゐる。従つて任期中辞職の必要がない。

私は日本に於ても知事(市町村長も同様)は何ヶ月かの餘裕を以つて次期の者を選挙すべきで此の場合現職知事の辞職は必要なく且つ辞職せざる方が県政の為だと思ふのである。何故ならば辞職した場合に眞に県民の信頼する知事と云うよりは臨時代理者が其の職を汚し其の責任に於て公選知事と同様の権限を行使することになるのであつて、民主主義の原則に副はないものがある。

悪い知事ならば選挙しなければよい。又知事が何回も当選することが善くないならば何回以上連続就職することを得ずと規定するがよい。一番簡單なのは現在の知事なり市町村長を再選するか否かは選挙民が決定すべきである。

又現行法では県議会の議員は補缺選挙の当選者は前任者の残任期間丈の議員であるのに、知事や市町村長の場合は全く新しい任期となつてゐる。これは一つ是正すべきではないか。第一知事や市長の

議員となつた場合其の残任期に対し直に就職の出来る人を作つて置かないことがよくない。

知事や市長を一年に二度も三度も選挙する様な制度は面白くない。県議会の代表者なり副知事なりを適格者として前知事の政策を踏襲せしめることが穏当だと思ふ。これは何とか考うべきではないか。又後任者を選挙すること今日の如しとするも技術的に考えて其の任期を全く新しくすることは今後十年もしたならば知事や市長の選挙が日本中毎日何処かで行われ、政治家は応援に苦勞し政府も困ることになる。世界中何処に斯様な例があるか私は知らないが、速かに是正しないと非常に複雑な問題となるであらう。

#### 八 自治と議會關係

米国の州議會は一年一回開くのは善い方で二年に一度豫算を編成し、其の時二ヶ月位議會を開くが其の他は重大な臨時の用事が無ければ開かない。これは私にも意外に思われたが米国では既に多年の経験で年一回を適當と考えている。

知事は議會にメッセージを送り又は之を朗読するが議會出席の義務を持たない。民主政治と云つても此の点日本とは大分違ふ様である。これは米国で立法部と行政部との區別が非常に明確である結果と思われる。

實際に日本の地方議會の開會は現在多過ぎる。追加豫算の提出も多過ぎると思ふ。現在過渡期にある我々としては止むを得ないが、それにしても豫算の問題は餘り簡單に考え過ぎる傾向がある。経費節約の点から見ても警戒すべきことと思われる。

米国で州議會が兩院制の多いのに日本では一院で立派に用事が足りているがこれは別に差支ないと思ふ。

今回の滯米中州議會の開會中參觀の機會は無かつたが、偶々ワシントン州の州議會が臨時議會を開くの際に際會した。其処で特に注意されたことは州の伝統に従ひ知事に対し Exelency (閣下) の称号を用い、開會の日上下兩院合同の會場で知事のメッセージを読ませる為、知事を議場に案内する為に上院より二名下院より三名の委員を挙げたこと、民主国と雖も自分等の代表者と云うよりは州民の代表者として禮儀を正す点注意に値するとして知事は共和党員でワシントン州議會は上院は共和党が多数であるが、下院は民主党が多数であるのに此の共和党の知事の入場に対し議員は一同起立し拍手して之を迎えたのである。何処迄も知事は州民の代表者として待遇されている。

猶議會の運営其の他議會殊にステートの議會に就て充分視察研究の機會を持たなかつたのは誠に遺憾であるが其の爲には追つて其の方面の方々が渡米されること、思うし私自身としても今度持歸つた關係書類等に依つて今後勉強したいと思つてゐる。

#### 九 知事會議

現在米国では知事會議を年中行事として年一回開催している。本年は第四十二回に當つていた。開催地は大方地方であつて首府で開くことは殆どない模様で中央政府の役人も特に必要が無ければ出席しない。或る知事から私の聞いた所では中央政府が全国の知事を召集した例は米国にないこと、若し大統領が召集して見ても出席しない知事があるだろうとのことであつた。

此の外に地方的に大小幾種かの知事會議が開かれてゐるが公式なものではない。又知事の連絡協議會が組織されているが其の本部は中央政府の所在地たるワシントンでなく、シカゴ市に市町村關係の建物と同一建物に同居していることは特筆に値する。日本で稍々もすると地方公共団体が各個教練をやつてゐる傾向のあることは経費節約の点から見ても御互に注意すべきことではないかと思ふ。地方

自治の大局から見れば是非共同で行くべきで、過渡期とは云い乍ら今日我々が屢々同士討を演ずることとは宜しく避くべきである。

又米国の各州が中央政府に対し独立的な態度を執っていることは目立っているが、其の反面全国知事会議の議場が各州旗の中央に米国々旗を飾り、各州の知事室や議場に必ず米国の星條旗を最高の地位に飾つて置くことは意義深く感ぜられた。

#### 一〇 地方自治に關する私設團體と大學

米国では地方自治に就て各州の大學が相当研究を進め立派な図書館等の設備もあるが、特に私設團體で自治問題に熱心なものがある。それは国や州と関係なく全く同好有志の集團で会費制度に依つて事務所を持ち専門家を招き機関誌を発行し専ら市民の立場から地方自治の在方に就て研究もし主張もするので極めて權威あるものである。

日本に於ても一般市民が政治に深き関心を持ち進んで此の種の機関を持つ様にでもなれば公正な与論も學術的な行政も可能となるであろう。

是非斯様な時機の速に到来せんことを祈るものである。

#### 一一 民主政治と投票

民主政治に投票は付きものである。然し米国の或る地方で一日に廿幾種かの投票を行つたことがあり、如何に米国でも餘り多過ぎると云うので市政連合会で投票抑制の運動を起こそうとしていた。

これは極端な例だが兎に角米国では何でも投票で決定すれば致し方がないと考えている。假に反対の意見を持つていても一度投票で定まつたならば之に従う。これが民主政治なので若し実行して見て悪ければ又投票して之を是正する、敢て無理をしたり我を張つたりすることなく自由に討議し自由に

投票して意見を纏め、一度実行して見て悪ければ又投票でやり直す、これが自然である。民主政治の善い所でもある。米国民が常に明朗なのは總てが此の主義に依つて公開的に進められ、別に權謀術策を弄しないからであると察せられる。

#### 結 言

政治問題の初学者であり又素人政治家の一人である私には、民主政治とはそもそも、形か人かの問題が提起される。然し私はそれよりも先づ民主政治の目的は何かと云うことを明確に意識し度いと思ふ。それは人の生命、自由、幸福を追求し人類の平和を維持するに最も適した政治だと云い得ると思ふが、然らば其の形が出来ればそれでよいかと云うに左に非らず之を運用する人が更に大切である。何となれば民主政治も要は人に依つて運用され、又人の為に存在するのだからである。従つて最後の結論としては、民主政治の要諦は民主的政治形体を民主的に訓練された人に依つて運営することであると云わざるを得ない。而して形を整えることは一応容易である。困難なのは人間を民主政治に適する様訓練することである。其の為に必要なことは第一に教育である。或る程度の文化的教育を持たない社会に民主政治は発達し得ない。第二には公共の為に盡すこと、即ち、奉公心に富んだ人間である。如何に教育があつても我利々々盲者の仲間に良き民主政治は成長し難いであろう。

日本では昔から忠君愛国とか義勇奉公と云つて随分極端に迄犠牲心を鼓舞奨励して来たが、平時の日常生活に於て公共の為に盡す人間の養成には頗る缺けていると思われる。これからの日本は、一旦緩急あらば身を鴻毛の軽きに置く底の人物よりも、日常の生活に於て利己を脱し自由と正義の爲一般公共の為に挺身する人が大切なのである。

日本の民主政治は今生声を挙げた計りである。これに善き実を結ばせるのは私共の責任である。日本再建の基礎も此処にある。それは国際社会の一員となるのにも第一に此の條件が掲げられているのである。



案第ニ〇号

六三制中絶を建設に於ける國庫補助基準の拡充方について  
本市は六三制新教育制度の速い実現を期すため別紙  
意見書を地方自治法第百九十九条ニ項に依り関係行政庁  
に提出するものとする

昭和二十五年二月二十八日 提出

藤澤市議会議員 田中喜太郎

意見書

三制新教育制度實施以來三年 我が藤澤市は文化國家として  
再建に資するたため昭和二十二年二十三年度に於て公共事業認  
外工事追々實施し五中学校を独立校とし市民子弟の教育施設  
拡充に努力して来た

是は建設に対する國庫補助の対象は建築總坪数に依ら  
生徒一人当りの七坪の建設基準を以つて補助せられてゐるが本市の  
認証外の工事追々施行し教育施設の充實を期する場合非常  
負担の増加と見る結果となる

此は右の實情を以つて察下され國庫補助の対象は實際の計画に  
基づく基準に依り補助せられ度 茲に地方自治法第九十九條三項に依  
り議会の議決を以つて意見書を提出する次第である

昭和二十五年二月二十八日

藤澤市議會議長 系山繁三郎

川根教育委員会委員長  
兼 兵衛殿

藤沢市金庫條例設置に付

藤沢市金庫條例を次のように定めるものとする

昭和十五年二月十八日 櫻子

藤沢市長 伊沢十郎

藤沢市金庫條例

第一條 市に属する現金の出納及び保管のため本市に金庫を置く

金庫事務は左の銀行として取り扱はしめる

株式会社 横濱興信銀行

株式会社 駿河銀行

第二條 金庫事務の取扱とする銀行は保管金に対し担保を提

供しなればならぬ

第三條 金庫事務の取扱とする銀行はその<sup>保管</sup>保金に対し普通預

金利率に利息を納付するものとする。但し支那準備金に  
は利息の納付を要しない。

第四條 この條例に定めるものの外金庫に  
つて必要な事項は市  
長が別に定める。

附 則

この條例は公布の日から施行する。

|      |    |           |           |           |    |         |                           |
|------|----|-----------|-----------|-----------|----|---------|---------------------------|
| 事業費  |    | 1,151,280 | △ 473,850 | 677,430   |    |         |                           |
|      | 貸金 | 1,053,000 | △ 473,850 | 579,150   | 貸金 | 579,150 | 工債 473,850 <sup>円</sup> 減 |
| 歳出合計 |    | 1,588,697 | △ 452,009 | 1,136,688 |    |         |                           |

歳入歳出差引残金存じ

昭和25年2月28日提出

藤澤市長 伊澤十郎

議案第一四 號

藤澤市學校建設事業公債條例中一部改正について

藤澤市學校建設事業公債條例を次のように改正するものとする

昭和十五年二月二十八日 提出

藤澤市長 伊澤十郎

記

藤澤市學校建設事業公債條例中改正條例

第五條 を次のように改める

第五條

本公債は昭和三十三年度中において募集するものとする。但し  
應募額が募集額に達しないときはその不足額を昭和三十五年迄

繰越し募集するものとする

第九條中「毎年度百二十五万円を下らない範囲内」とを削る

附 則

この条例は公布の日から施行し昭和二十三年度から適用する

議案第一五號

藤澤市社會教育法施行條例設置について

本市は社會教育法施行條例を次のように設置するもの  
とする

昭和十五年二月二十八日提議

藤澤市長 伊澤十郎

# 藤澤市社會教育法施行條例(案)

## 第一條

社會教育法(昭和二十四年第三十七號)以下法と云ふは第十五條の規定により本市に社會教育委員を置く

## 第二條

社會教育委員(この條及第三條中委員と云ふ)の定数は十五名とする

2. 委員の任期は二年とする 但し再任を妨げない

3. 特別の事由のあるときは教育委員会は前項の規定

にわらわらず委員を解職することかできる

4. 委員の缺員と出たときは補欠委員を委嘱しなれば

ならない

5. 前項の委員の任期は前任者の残任期間とする

## 第三條

法第十九條第二項の規定により委員には職務のため必要とする費用弁償及び旅費と支給する

2. 前項の額は、藤澤市議會議員等報酬額費用弁償

額及支給條例と準用する

## 第四條

この條例に定めがあるもの外必要な事項は教育委員會に於て定める



人この條例 附則  
 又本市に教育委員会を設置し四月一日から施行する  
 中、教育委員会とあるは市長と読み替へるも  
 のとする

議案第六號

授産所新設について

本市は授産所を次のように新設するものとする

昭和三十五年二月三十一日提出

藤澤市長 伊澤十郎

一 位置 藤澤市沓瀬字西田五番地の二

一 構造及坪数 木造スレート葺平家建授産所一棟建坪二七坪七五

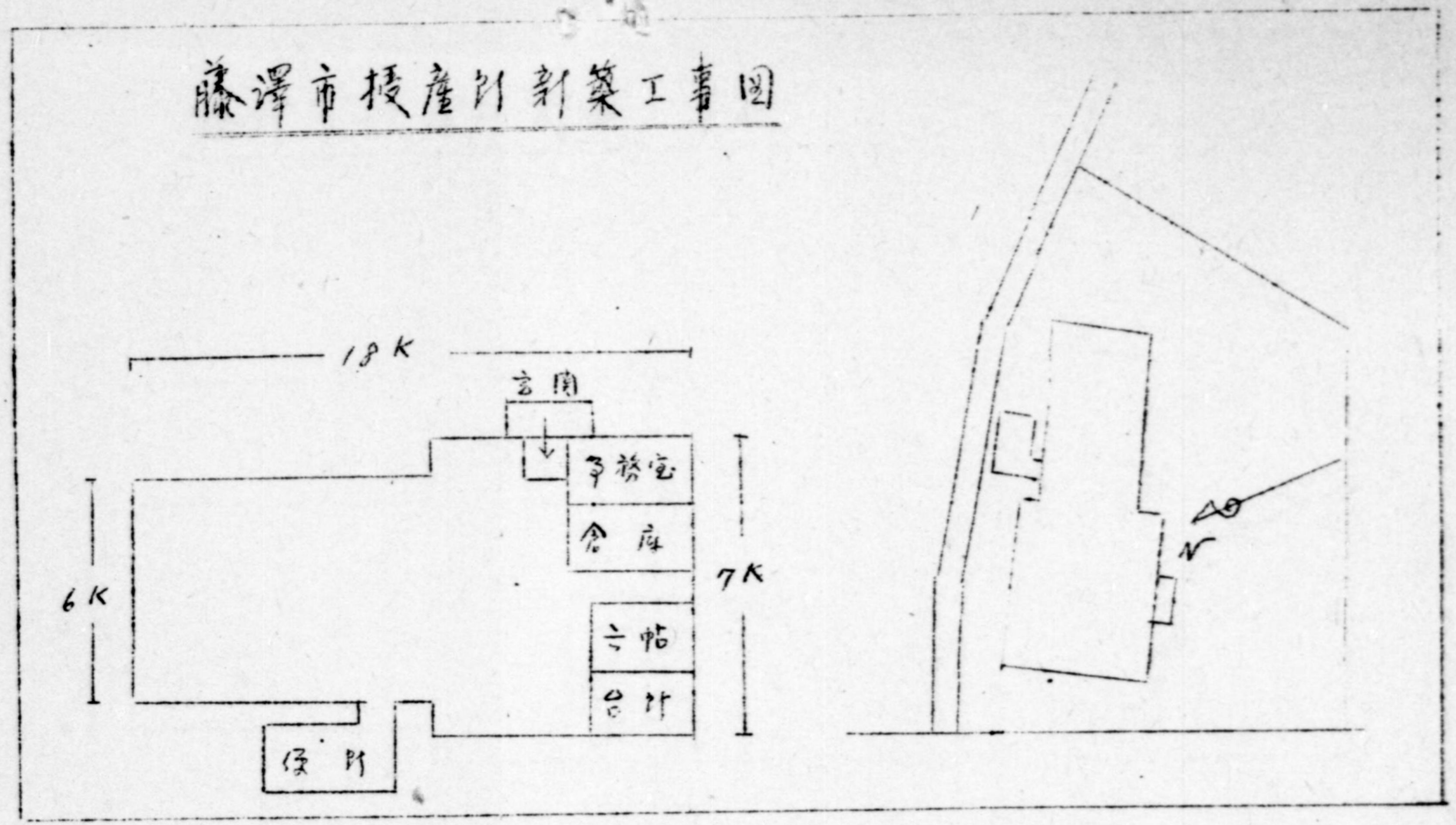
外附属建物一棟建坪七坪

一 別紙回りの通り

但し工事費其の他工事施行上必要あるときは主体部分に変更を  
生じない程度の設計変更をすることができると

一 昭和三十四年十月三十一日提出議案第九號は之を廃止するものとする

藤澤市授産所新築工事圖



議案第17號

昭和24年度藤澤市歳入歳出追加更正算

歲入

| 款項             | 目 | 前回の<br>累計額  | 追加更正<br>予算額 | 合計          | 各目明細 |            |    |
|----------------|---|-------------|-------------|-------------|------|------------|----|
|                |   |             |             |             | 節    | 金額         | 備考 |
| 市税             |   | 112,442,440 | 6,006,149   | 118,448,589 |      |            |    |
| 1 縣稅<br>附加稅    |   | 53,240,350  | 1,656,499   | 54,896,849  |      |            |    |
| 2 家屋稅<br>附加稅   |   | 8,300,000   | 1,940,000   | 6,360,000   | 現年度分 | 6,310,000  |    |
| 3 事業稅<br>附加稅   |   | 14,228,000  | 1,386,499   | 15,614,499  | 現年度分 | 15,456,499 |    |
| 6 酒消費稅<br>附加稅  |   | 2,200,000   | 410,000     | 2,610,000   | 現年度分 | 2,610,000  |    |
| 7 電氣瓦斯稅<br>附加稅 |   | 2,190,000   | 1,370,000   | 3,560,000   | 現年度分 | 3,560,000  |    |
| 8 自動車稅<br>附加稅  |   | 2,200,000   | 430,000     | 2,630,000   | 現年度分 | 2,580,000  |    |
| 4 旧法<br>稅收入    |   | 404,110     | 152,650     | 556,760     |      |            |    |
| 2 縣稅<br>營業稅附加稅 |   | 402,510     | 152,650     | 555,160     | 過年度分 | 555,160    |    |
| 5 地方配付配        |   | 30,538,000  | 4,197,000   | 34,735,000  |      |            |    |

|      |            |            |           |                      |  |                             |
|------|------------|------------|-----------|----------------------|--|-----------------------------|
|      | 地方配付税      | 30,538,000 | 4,197,000 | 34,735,000           |  |                             |
| 5    | 縣支出金       | 6,782,979  | 2,019,000 | 6,984,879            |  |                             |
| 2    | 縣補助金       | 5,328,633  | 2,019,000 | 5,530,533            |  |                             |
|      | 1          |            |           | <del>5,126,723</del> |  |                             |
|      | 土木費補助金     | 4,950,000  | 1,025,000 | 5,985,500            |  | 白旗川改修工事費補助金 17<br>102,500追加 |
|      | 5          |            |           |                      |  | 農業統計費補助金 22,400 円           |
|      | 統計費補助金     | 7,200      | 22,400    | 29,500               |  |                             |
|      | 12         |            |           |                      |  | 消防施設費補助金 4,100 円            |
|      | 消防施設費補助金   | 164,000    | 41,000    | 205,000              |  |                             |
|      | 14         |            |           |                      |  | 観光費補助金 35,000 円             |
|      | 観光費補助金     | 367,810    | 35,000    | 402,810              |  |                             |
| 6    | 寄附金        | 7,165,310  | 30,000    | 7,195,310            |  |                             |
|      | 寄附金        | 7,165,310  | 30,000    | 7,195,310            |  |                             |
|      | 3          |            |           |                      |  | 商工要覽調製費寄附金 30,000 円         |
|      | 商工要覽調製費寄附金 | 35,000     | 30,000    | 65,000               |  |                             |
|      | 入金         | 2,825,765  | 2,628,000 | 5,453,765            |  |                             |
| 特別会計 | 繰入金        | 2,740,000  | 2,628,000 | 5,368,000            |  |                             |

|       |                  |             |             |             |  |  |                             |
|-------|------------------|-------------|-------------|-------------|--|--|-----------------------------|
|       | 1 公募債特別<br>會計繰入金 | 2,240,000   | 2,628,000   | 4,868,000   |  |  | 公募債特別會計繰入金 円並加<br>2,628,000 |
| 10 市債 |                  | 25,710,000  | △ 2,300,000 | 23,410,000  |  |  |                             |
| 1 市債  |                  | 25,710,000  | △ 2,300,000 | 23,410,000  |  |  |                             |
|       | 2 普通土木債          | 2,400,000   | △ 2,000,000 | 400,000     |  |  | 道路整備費債 2,000,000 円減         |
|       | 3 保健衛生債          | 300,000     | △ 300,000   | 0           |  |  | 下水道新設費債 300,000 円 "         |
| 歳入合計  |                  | 211,782,037 | 6,566,049   | 218,348,086 |  |  |                             |

歳 出

| 款 項    | 目                 | 前年計額       | 追加更正<br>繰上額 | 合 計        | 各 目 明 細           |  |
|--------|-------------------|------------|-------------|------------|-------------------|--|
|        |                   |            |             |            | 節 額               | 備 考  |
| 議公費    |                   | 4,144,290  | 117,550     | 4,261,840  |                   |  |
| 市議公費   |                   | 4,144,290  | 117,550     | 4,261,840  |                   |  |
|        | 4. 旅 費            | 1,437,000  | 105,000     | 1,542,000  | 4. 旅 費            | 1,542,000 市議諸君旅費 105,000円追加  |
|        | 4. 貸付金補助<br>及交付金  | 29,000     | 11,550      | 40,550     | 4. 貸付金補助<br>及交付金  | 40,550 全国議長会負担金 13,400円追加<br>副議長会負担金 2,100円追加<br>議長会負担金 5,000円減<br>市議政務員長会議員負担金 2,050円追加         |
| 役所費    |                   | 31,491,086 | 100,000     | 31,591,086 |                   |  |
| 市役所費   |                   | 27,177,312 | 106,000     | 27,283,312 |                   |  |
|        | 5. 交際費            | 11,181,000 | 100,000     | 11,281,000 | 10. 交際費           | 11,281,000 市長交際費 50,000円追加<br>市交際費 50,000円追加   |
| 4. 消防費 |                   | 1,027,795  | 172,594     | 1,200,389  |                   |  |
| 2. 学務費 |                   | 743,410    | 172,634     | 916,044    |                   |  |
|        | 22. 貸付金補助<br>及交付金 | 394,263    | 172,634     | 566,897    | 22. 貸付金補助<br>及交付金 | 566,897 消防施設費補助<br>第5分団 14,619円<br>第10分団 1,425円<br>第12分団 89,125円<br>第16分団 44,640円<br>大連部 28,825円 |



|                |            |         |                                   |                      |  |
|----------------|------------|---------|-----------------------------------|----------------------|--|
| 土木費            | 16,322,939 | 157,998 | 16,480,937                        |                      |  |
| 道路橋梁費          | 6,045,253  | 780,400 | <del>5,264,853</del><br>5,264,853 |                      |  |
| 道路維持修繕費        | 3,468,380  | 800,000 | 2,668,380                         | 26<br>原枝料費           | 1918,380 利息費 800,000円減   |
| 道路新設改築費        | 147,000    | 0       | 147,000                           | 24<br>工事請負費          | 112,000 小糸地内土番工事請負費 35,000円減   |
| 負担金補助<br>及B交付金 | 28,750     | 19,600  | 48,350                            | 26<br>原枝料費           | 35,000 セメント費 35,000円追加   |
| 用水路費           | 22,000     | 405,575 | 427,575                           | 32<br>負担金補助<br>及B交付金 | 48,350 宮内省農道改良工事補助金 4,500円追加<br>川名農道改良工事費補助金 4,100円追加  |
| 負担金補助<br>及B交付金 | 0          | 405,575 | 405,575                           | 32<br>負担金補助<br>及B交付金 | 405,575 利水用水路工事費補助金<br>246,075円<br>羽鳥排水工事費補助金 40,000円<br>大野地排水工事費補助金 10,500円<br>候野地工事費補助金 9,000円 |
| 河川費            | 350,213    | 216,827 | 567,040                           |                      |  |
| 河川新設改築費        | 350,213    | 206,827 | 557,040                           | 24<br>工事請負費          | 509,000 白旗川改良工事請負費 182,287円追加  |
|                |            |         |                                   | 26<br>原枝料費           | 48,040 セメント費 22,940円追加<br>鋼材費 3,600円追加   |

| 款項 | 目                | 前開子(の)<br>累計額                     | 追加更正<br>豫算額 | 合計                                | 各 目 明 細                           |  |
|----|------------------|-----------------------------------|-------------|-----------------------------------|-----------------------------------|--|
|    |                  |                                   |             |                                   | 節 金額                              | 備 考  |
|    | 2. 費目金補助<br>及交付金 | 0                                 | 10,000      | 10,000                            | 22. 費目金補助<br>及交付金 10,000          | 境川深工費補助補助金<br>10,000円                          |
| 6  | 教育費              | 37,272,591                        | 2,628,000   | 39,900,591                        |                                   |  |
| 8  | 営繕費              | 20,793,406                        | 2,628,000   | 23,421,406                        |                                   |  |
|    | 2. 辻堂小学校<br>新築費  | 1,430,070<br><del>4,431,070</del> | 2,628,000   | 4,058,070<br><del>1,197,070</del> | 24. 工事請負費<br><del>4,431,070</del> | 辻堂小学校第三期工事請負費<br>2,628,000円追加                  |
| 8  | 社会及B<br>労働施設費    | 26,704,102                        | 0           | 26,704,102                        |                                   |  |
|    | 2. 共同作業所<br>新設費  | 2,500,000                         | 2,500,000   | 0                                 |                                   |  |
|    | 6. 需用費           | 242,500                           | 242,500     | 0                                 | 11. 消耗品費<br>13. 食糧費<br>25. 備品費    | 消耗品費 10,000円減<br>食糧費 50,000円減<br>備品費 182,500円減 |
|    | 2. 営繕費           | 2,257,500                         | 2,257,500   | 0                                 | 2. 賃金<br>24. 工事請負費                | 賃金 10,000円減<br>工事請負費 2,227,500円減               |

|              |           |         |           |           |             |            |                                       |
|--------------|-----------|---------|-----------|-----------|-------------|------------|---------------------------------------|
| 7 援産所<br>新設費 |           | 0       | 2,500,000 | 2,500,000 | 26<br>原枝料費  | 0          | 原枝料費 20,000円減                         |
|              | 1<br>需用費  | 0       | 240,000   | 240,000   | 11<br>消耗品費  | 10,000     | 文具費<br>消耗品費                           |
|              |           |         |           |           | 12<br>食糧費   | 50,000     | 意式器或式器の賄料                             |
|              |           |         |           |           | 25<br>備品費   | 180,000    | 事務用器具購入費 20,000円<br>作業用器具購入費 160,000円 |
|              | 2<br>報償費  | 0       | 10,000    | 10,000    | 報償費         | 10,000     | 報償費                                   |
|              | 3<br>管理費  | 0       | 2,250,000 | 2,250,000 | 9<br>賃金     | 10,000     | 人夫賃                                   |
| 24<br>工事請負費  |           |         |           |           | 2,220,000   | 援産所新設工事請負費 |                                       |
| 26<br>原枝料費   |           |         |           |           | 20,000      | ガラス費       |                                       |
| 9 産業経済費      | 5,632,501 | 103,720 | 5,736,221 |           |             |            |                                       |
| 1<br>商工費     |           | 266,500 | 103,720   | 370,220   |             |            |                                       |
|              | 2<br>需用費  | 126,500 | 103,720   | 230,220   | 14<br>印刷製本費 | 170,720    | 商工要覧印刷費 103,720円追加                    |

| 款項         | 目            | 原計額        | 預算額     | 金額         | 科目明細          |                                    |
|------------|--------------|------------|---------|------------|---------------|------------------------------------|
|            |              |            |         |            | 金額            | 備                                  |
| 10. 觀光費    |              | 14,977,193 | 745,000 | 15,062,193 |               |                                    |
| 1. 觀光費     |              | 13,340,000 | 45,000  | 13,279,000 |               |                                    |
|            | 3. 慰勞金補助及交付金 | 473,000    | 25,000  | 508,000    | 32. 慰勞金補助及交付金 | 508,000 樂山旅長慰勞金 25,000円            |
|            | 6. 報償金       | 0          | 19,000  | 10,000     | 8. 報償費        | 10,000 報償金 10,000円                 |
| 2. 公園費     |              | 5,650,527  | 100,000 | 5,750,527  |               |                                    |
|            | 5. 營繕費       | 4,856,100  | 100,000 | 4,956,100  | 34. 工事請負費     | 4,856,100 江ノ島植物園水道工事請負費 100,000円追加 |
| 12. 統計調査費  |              | 573,319    | 22,400  | 695,719    |               |                                    |
| 1. 統計調査費   |              | 532,719    | 9,800   | 542,519    |               |                                    |
|            | 2. 諸手當       | 145,664    | 9,800   | 155,464    | 5. 職員手當       | 155,464 超過勤務手当 9,800円追加            |
| 4. 農林水産統計費 |              | 59,400     | 12,600  | 72,000     |               |                                    |
|            | 1. 諸手當       | 77,000     | 12,600  | 17,600     | 6. 雜手當        | 47,600 臨時統計權人手當 12,600円追加          |

|          |                |                    |           |                |              |  |
|----------|----------------|--------------------|-----------|----------------|--------------|--|
| 公議金      |                | 897,155            | 349,769   | 12,740,038     |              |  |
| 繰入金      |                | <del>682,863</del> | 54,650    | <u>736,613</u> |              |  |
| 5<br>厚生費 | 特別事業所<br>特別事業費 | 182,963            | 52,850    | 236,613        | 特別事業所<br>繰入金 | 特別事業所特別会計繰入金<br>62,150円追加  |
|          | 厚生費            | 447,000            | 257,900   | 272,209        |              |  |
| 5<br>厚生費 | 厚生費            | 70,000             | 3,372,090 | 7,249,098      | 特別事業所<br>繰入金 | 特別事業所特別会計繰入金<br>10,000円追加<br>12,150円追加<br>塔台会本部特別<br>費 78,249円<br>補助 17,500円 |
|          | 歳入合計           | 2,472,017          | 4,566,009 | 210,340,076    |              |  |

歳入歳出算出表

昭和25年2月20日提出

藤沢市長 伊澤十郎

議案第18號

昭和24年度藤澤市共同作業所歳入歳出追加更正予算

歳入

| 款項      | 目        | 前年度の<br>累計額 | 追加更正<br>予算額 | 合計      | 目 明 細 |    |                              |
|---------|----------|-------------|-------------|---------|-------|----|------------------------------|
|         |          |             |             |         | 各節    | 金額 | 備 考                          |
| 1 事業収入  |          | 1,170,000   | △ 526,500   | 643,500 |       |    |                              |
| 1 事業収入  |          | 1,170,000   | △ 526,500   | 643,500 |       |    |                              |
|         | 1 作業収入   | 1,170,000   | △ 526,500   | 643,500 |       |    | 作業収入526,500 <sup>円</sup> 減   |
| 2 国庫支出金 |          | 233,234     | △ 133,647   | 99,587  |       |    |                              |
| 1 国庫補助金 |          | 233,234     | △ 133,647   | 99,587  |       |    |                              |
|         | 1 作業所補助金 | 233,234     | △ 133,647   | 99,587  |       |    | 作業所補助金133,647 <sup>円</sup> 減 |
| 3 県支出金  |          | 0           | 82,412      | 82,412  |       |    |                              |
| 1 県補助金  |          | 0           | 82,412      | 82,412  |       |    |                              |
|         | 1 作業所補助金 | 0           | 82,412      | 82,412  |       |    | 作業所補助金82,412 <sup>円</sup> 追加 |

|               |               |           |                      |           |  |                                |
|---------------|---------------|-----------|----------------------|-----------|--|--------------------------------|
| 4 繰入金         |               | 183,963   | 52,650               | 236,613   |  |                                |
| 1 一般会計<br>繰入金 |               | 183,963   | 52,650               | 236,613   |  |                                |
|               | 1 一般会計<br>繰入金 | 183,963   | 52,650               | 236,613   |  | 一般会計繰入金 52,650 <sup>円</sup> 追加 |
| 5 繰越金         |               | 0         | 73,076               | 73,076    |  |                                |
| 1 前年度<br>繰越金  |               | 0         | 73,076               | 73,076    |  |                                |
|               | 1 前年度<br>繰越金  | 0         | 73,076               | 73,076    |  | 前年度繰越金 73,076 <sup>円</sup> "   |
| 歳入合計          |               | 1,588,697 | 452,009 <sup>△</sup> | 1,136,688 |  |                                |

歳 出

|        |                 |           |                      |           |                  |  |
|--------|-----------------|-----------|----------------------|-----------|------------------|--|
| 1 作業所費 |                 | 1,574,301 | 452,009 <sup>△</sup> | 1,122,292 |                  |  |
| 1 作業所費 |                 | 423,021   | 21,841               | 444,862   |                  |  |
|        | 3 旅費            | 10,080    | 4,666                | 14,746    | 4 旅費             | 14,746 普通旅費 4,666 <sup>円</sup> 追加              |
|        | 5 負担金補助<br>及交付金 | 2,400     | 17,175               | 19,575    | 30 負担金補助<br>及交付金 | 19,575 神奈川県共同作業所連盟負担金<br>17,175 <sup>円</sup> " |

昭和25年2月神奈川県議會定例会追加議案

(自定縣追第53号議案)  
(至定縣追第55号議案)



定縣道第53聯議案

昭和25年度和奈川縣歲入歲出追加預算  
歲入

| 款 項      | 目        | 既 算 提 出 額     | 追 予 算 加 額  | 計             | 各 目 明 細       |            |
|----------|----------|---------------|------------|---------------|---------------|------------|
|          |          |               |            |               | 節             | 金 額 附 記    |
| 1 寄 附 金  |          | 11,300,000    | 5,663,900  | 16,963,900    |               |            |
| 1 寄 附 金  |          | 11,300,000    | 5,663,900  | 16,963,900    |               |            |
|          | 1 指定寄附金  | 11,300,000    | 5,663,900  | 16,963,900    | 縣立學校管<br>轄費附金 | 5,663,900  |
| 10 繰 越 金 |          | 1,000,000     | 77,818,955 | 78,818,955    |               |            |
| 1 前年度繰越金 |          | 1,000,000     | 77,818,955 | 78,818,955    |               |            |
|          | 1 前年度繰越金 | 1,000,000     | 77,818,955 | 78,818,955    | 前年度繰越金        | 77,818,955 |
| 歲 入 合 計  |          | 6,119,321,942 | 83,482,855 | 6,202,804,797 |               |            |

(2)

歲 出

| 款 項     | 目                      | 原 提 出 額       | 追 予 算 加 額  | 計             | 各 目 明 細        |           |                 |
|---------|------------------------|---------------|------------|---------------|----------------|-----------|-----------------|
|         |                        |               |            |               | 節              | 金 額       | 附 記             |
| 2 薪 務 費 |                        | 836,625.268   | 11,352.550 | 847,977.818   |                |           |                 |
| 2 管 轄 費 |                        | 92,422.400    | 6,352.550  | 98,774.950    |                |           |                 |
|         | 6 自 動 交 換 費<br>話 施 設 費 |               | 6,352.550  | 6,352.550     | (1) 消 耗 品 費    | 119,670   |                 |
|         |                        |               |            |               | (3) 食 糧 費      | 12,000    |                 |
|         |                        |               |            |               | (16) 運 送 運 輸 費 | 90,000    |                 |
|         |                        |               |            |               | (24) 工 事 請 購 費 | 4,733,690 | 配 線 工 事 請 購 費   |
|         |                        |               |            |               | (25) 備 品 費     | 17,190    |                 |
|         |                        |               |            |               | (27) 施 設 費     | 1,380,000 | 機 械 購 入 費       |
| 9 諸 費   |                        | 75,314.100    | 5,000.000  | 80,314.100    |                |           |                 |
|         | 4 福 利 學 生 費            | 6,620.700     | 5,000.000  | 11,620.700    | (23) 修 繕 料     | 757,500   |                 |
| 4 土 木 費 |                        | 1,393,432.469 | 9,556.705  | 1,392,989.174 | (28) 施 設 費     | 4,242,500 | 土 地 家 產 等 購 入 費 |

|         |          |             |           |             |            |                |
|---------|----------|-------------|-----------|-------------|------------|----------------|
| 1 道路橋梁費 |          | 303,862.900 | 8,124.900 | 311,987.800 |            |                |
|         | 21 路面復旧費 |             | 8,124.900 | 8,124.900   | (4) 旅費     | 68,000 普通旅費    |
|         |          |             |           |             | (5) 職員手当   | 31,500 超過勤務手当  |
|         |          |             |           |             | (9) 賃金     | 4,046,900      |
|         |          |             |           |             | (11) 消耗品費  | 231,500        |
|         |          |             |           |             | (12) 燃料費   | 340,500        |
|         |          |             |           |             | (14) 印刷製本費 | 3,000          |
|         |          |             |           |             | (15) 光熱水費  | 73,000         |
|         |          |             |           |             | (16) 運送運搬費 | 645,500        |
|         |          |             |           |             | (20) 借料及賃料 | 1,489,500      |
|         |          |             |           |             | (22) 修繕料   | 810,000        |
|         |          |             |           |             | (24) 工事請負費 | 54,000 道路工事請負費 |
|         |          |             |           |             | (25) 備品費   | 256,500        |
|         |          |             |           |             | (26) 原付料費  | 20,000         |
|         |          |             |           |             | (33) 保険料   | 55,000 失業保険料   |

|         |                   |            |           |            |                  |         |         |
|---------|-------------------|------------|-----------|------------|------------------|---------|---------|
| 5 都市計畫費 |                   | 69,309,800 | 1,431,805 | 70,741,605 |                  |         | (4)     |
|         | 5 中小都市振興<br>整備事業費 | 5,943,000  | 1,431,805 | 7,374,805  | (4) 旅費           | 16,187  | 普通旅費    |
|         |                   |            |           |            | (5) 職員手当         | 16,704  | 超過對稱手当  |
|         |                   |            |           |            | (9) 賃金           | 759,868 |         |
|         |                   |            |           |            | (11) 消耗品費        | 37,192  |         |
|         |                   |            |           |            | (12) 燃料費         | 100,167 |         |
|         |                   |            |           |            | (13) 食糧費         | 2,000   |         |
|         |                   |            |           |            | (14) 印刷製本費       | 14,900  |         |
|         |                   |            |           |            | (15) 光熱水費        | 12,495  |         |
|         |                   |            |           |            | (20) 借料及損料       | 13,308  |         |
|         |                   |            |           |            | (21) 湯熱料         | 51,000  |         |
|         |                   |            |           |            | (24) 工事請負費       | 65,836  | 街路工事請負費 |
|         |                   |            |           |            | (25) 備品費         | 65,872  |         |
|         |                   |            |           |            | (21) 原枝料費        | 172,122 |         |
|         |                   |            |           |            | (31) 補償金及<br>補填金 | 112,150 | 物件補償金   |

|        |        |               |            |               |                  |            |                        |
|--------|--------|---------------|------------|---------------|------------------|------------|------------------------|
| 5教育費   |        | 1,711,719.004 | 35,194,640 | 1,746,913,644 | (33) 保険料         | 1,004      | 労災保険料                  |
| 4高等学校費 |        | 247,728,398   | 35,194,640 | 282,923,038   |                  |            |                        |
|        | 5管 理 費 | 44,992,600    | 35,194,640 | 86,187,240    | 41 旅 費           | 553,820    | 普通旅費                   |
|        |        |               |            |               | (11) 消耗品費        | 231,240    |                        |
|        |        |               |            |               | (12) 燃料費         | 73,000     |                        |
|        |        |               |            |               | (13) 食糧費         | 125,000    |                        |
|        |        |               |            |               | (14) 印刷製本費       | 142,852    |                        |
|        |        |               |            |               | (15) 通信運搬費       | 55,530     |                        |
|        |        |               |            |               | (20) 借料振替料       | 55,000     |                        |
|        |        |               |            |               | (23) 修繕料         | 1,799,600  |                        |
|        |        |               |            |               | (24) 工事請負費       | 32,015,598 | 学校新築工事請負費<br>校舎拡張工事請負費 |
|        |        |               |            |               | (25) 備品費         | 89,000     |                        |
|        |        |               |            |               | (28) 施設費         | 4,000      | 土地購入費                  |
|        |        |               |            |               | (30) 補償金及<br>橋墩金 | 50,000     | 土地補償金                  |

( 6 )

|        |         |               |            |               |            |            |   |  |
|--------|---------|---------------|------------|---------------|------------|------------|---|--|
| 7保健衛生費 |         | 226,917,000   | 630,760    | 227,547,760   |            |            |   |  |
| 4精神病院費 |         | 19,096,300    | 630,760    | 19,727,060    |            |            |   |  |
|        | 4官廳費    |               |            | 630,760       | 630,760    | (4) 旅費     | 6,000 普通旅費                                  |  |
|        |         |               |            |               |            | (11) 消耗品費  | 7,260                                       |  |
|        |         |               |            |               |            | (4) 印刷製本費  | 5,000                                       |  |
|        |         |               |            |               |            | (23) 修繕料   | 6,000                                       |  |
|        |         |               |            | (24) 工事請負費    | 606,500    | 政策工事請負費    |   |  |
| 8産業經濟費 |         | 861,755,806   | 26,748,200 | 888,504,006   |            |            |   |  |
| 8商工業費  |         | 182,489,675   | 24,345,000 | 206,834,675   |            |            |   |  |
|        | 1工業試驗所費 | 56,523,063    | 24,345,000 | 80,868,063    | (28) 施設費   | 24,345,000 | 機械購入費<br>945,000円<br>土地建物購入費<br>23,400,000円 |  |
| 13種畜場費 |         | 19,419,000    | 2,403,200  | 21,822,200    |            |            |   |  |
|        | 2用費     | 10,489,000    | 2,403,200  | 12,892,200    | (20) 燃料及操料 | 3,200      |   |  |
|        |         |               |            |               | (28) 施設費   | 2,400,000  | 動物購入費                                       |  |
| 歳出合計   |         | 6,119,321,942 | 83,482,855 | 6,202,804,797 |            |            |   |  |

引 差 出 入 歳

し な 金 残

出 提 日 月 年 3 2 5 和 昭

都 太 岩 山 内 事 知 縣 川 奈 神

定縣道第54號議案

昭和25年度神奈川縣水道會計歲入歲出追加豫算

歲

入

| 款 項 | 目        | 稅 票 提 出 額  | 追 予 算 加 額 | 計          | 各 目 明 細 |           |     |
|-----|----------|------------|-----------|------------|---------|-----------|-----|
|     |          |            |           |            | 節       | 金 額       | 附 記 |
| 1   | 水道事業收入   | 74,187,058 | 4,227,732 | 78,414,790 |         |           |     |
| 3   | 繰越金      | 3,000,000  | 4,227,732 | 7,227,732  |         |           |     |
|     | 1 前年度繰越金 | 3,000,000  | 4,227,732 | 7,227,732  | 前年度繰越金  | 4,227,732 |     |
|     | 歲 入 合 計  | 74,187,058 | 4,227,732 | 78,414,790 |         |           |     |



歲 出

| 款 項     | 目              | 既 提 出<br>累 計 額 | 追 予 算 加 額 | 計          | 各 目 明 細    |           |      |
|---------|----------------|----------------|-----------|------------|------------|-----------|------|
|         |                |                |           |            | 節          | 金 額       | 附 記  |
| 水道事業費   |                | 74,187,058     | 4,227,732 | 78,414,790 |            |           |      |
| 事業費     |                | 65,947,572     | 4,227,732 | 70,175,304 |            |           |      |
|         | 4 沈澱池新設<br>工事費 | -              | 4,227,732 | 4,227,732  | (4) 旅 費    | 27,812    | 普通旅費 |
|         |                |                |           |            | (9) 賃 金    | 519,439   |      |
|         |                |                |           |            | (10) 消耗品費  | 59,035    |      |
|         |                |                |           |            | (11) 通信運搬費 | 35,000    |      |
|         |                |                |           |            | (20) 借料及損料 | 157,083   |      |
|         |                |                |           |            | (23) 修繕料   | 15,094    |      |
|         |                |                |           |            | (24) 工事請負費 | 3,146,762 |      |
|         |                |                |           |            | (26) 原枝料費  | 267,507   |      |
| 歲 出 合 計 |                | 74,187,058     | 4,227,732 | 78,414,790 |            |           |      |

歳入歳出差引

(10)

残金なし

昭和25年3月25日提出

神奈川縣知事 内 山 岩 太 郎

定縣追第55號議案

昭和25年度神奈川県住宅建設事業費歳入歳出追加豫算

歳入

| 款 項            | 目            | 既 算 出 額     | 追 加 算 額    | 計           | 各 目 明 細 |     |     |
|----------------|--------------|-------------|------------|-------------|---------|-----|-----|
|                |              |             |            |             | 節       | 金 額 | 附 記 |
| 1住宅建設事業<br>收 入 |              | 152,010,180 | 19,107,456 | 671,117,636 |         |     |     |
| 1公營企業收入        |              | 222,147,232 | 19,107,456 | 241,254,688 |         |     |     |
|                | 3分譲住宅<br>收 入 | 180,346,000 | 19,107,456 | 199,453,456 |         |     |     |
| 歳 入 合 計        |              | 152,010,180 | 19,107,456 | 671,117,636 |         |     |     |

(11)

| 款 項        | 目    | 歲 出         |            | 計           | 各 目 明 細    |           |       |
|------------|------|-------------|------------|-------------|------------|-----------|-------|
|            |      | 實 提 出 額     | 追 算 加 額    |             | 節          | 金 額       | 附 記   |
| 住宅建設事業費    |      | 652,010,180 | 19,107,456 | 671,117,636 |            |           |       |
| 5分讓住宅建設事業費 |      | 180,346,000 | 19,107,456 | 199,453,456 |            |           |       |
|            | 3建設費 | 178,331,085 | 19,107,456 | 197,438,541 | (4) 旅 費    | 100,000   | 普通旅費  |
|            |      |             |            |             | (11) 消耗品費  | 20,750    |       |
|            |      |             |            |             | (13) 食糧費   | 15,000    |       |
|            |      |             |            |             | (19) 手數料   | 10,000    |       |
|            |      |             |            |             | (20) 借料及損料 | 20,000    |       |
|            |      |             |            |             | (23) 修繕料   | 5,000     |       |
|            |      |             |            |             | (24) 工事補助費 | 9,599,300 |       |
|            |      |             |            |             | (26) 原枝料費  | 8,840,700 |       |
|            |      |             |            |             | (28) 池設費   | 496,706   | 土地購入費 |
| 歲 出 合 計    |      | 652,010,180 | 19,107,456 | 671,117,636 |            |           |       |

歳入歳出差引

残金なし

昭和25年3月25日提出

神奈川県知事 内山 岩太郎

昭和25年2月神奈川県議會定例会追加議案

(自定縣追第48号議案)  
(至定縣追第52号議案)

定縣追第48號議案

昭和25年度沅川縣歲入歲出追加予算

表 入

| 款 項       | 目                 | 既 提 出<br>累 計 額 | 追 加<br>予 算 額 | 計           | 各 目 明 細        |             |
|-----------|-------------------|----------------|--------------|-------------|----------------|-------------|
|           |                   |                |              |             | 備 註            | 附 記         |
| 6 寄 附 金   |                   | 10,800,000     | 500,000      | 11,300,000  |                |             |
| 1 寄 附 金   |                   | 10,800,000     | 500,000      | 11,300,000  |                |             |
|           | 1 指定寄附金           | 10,800,000     | 500,000      | 11,300,000  | 兒童福祉費<br>附 金   | 500,000     |
| 7 繰 入 金   |                   | 23,703,346     | 180,346,000  | 204,049,346 |                |             |
| 1 特別會計繰入金 |                   | 23,703,346     | 180,346,000  | 204,049,346 |                |             |
|           | 9 住宅建設事業<br>會計繰入金 | -              | 180,346,000  | 180,346,000 |                |             |
| 8 雜 收 入   |                   | 180,575,488    | 100,000,000  | 280,575,488 |                |             |
| 3 雜 入     |                   | 97,513,309     | 100,000,000  | 197,513,309 |                |             |
|           | 1 雜 入             | 97,513,309     | 100,000,000  | 197,513,309 | 中小企業運用<br>資金回收 | 100,000,000 |

( 2 )

|          |     |          |               |             |               |  |  |  |
|----------|-----|----------|---------------|-------------|---------------|--|--|--|
| 9 縣      | 債   |          | 262,790,000   | 30,600,000  | 293,390,000   |  |  |  |
| 1 縣      | 債   |          | 262,790,000   | 30,600,000  | 293,390,000   |  |  |  |
|          |     | 与災害復旧債   | 34,870,000    | 30,600,000  | 65,470,000    |  |  |  |
| 10 縣     | 越 金 |          | -             | 1,000,000   | 1,000,000     |  |  |  |
| 1 前年度繰越金 |     |          | -             | 1,000,000   | 1,000,000     |  |  |  |
|          |     | 1 前年度繰越金 | -             | 1,000,000   | 1,000,000     |  |  |  |
| 歳 入 合 計  |     |          | 5,806,875,942 | 312,446,000 | 6,119,321,942 |  |  |  |



出 表

| 款 項         | 目                   | 既 提 出<br>累 計 額 | 追 加<br>予 算 額 | 計             | 各 目 明 細       |           |        |
|-------------|---------------------|----------------|--------------|---------------|---------------|-----------|--------|
|             |                     |                |              |               | 節             | 金 額       | 附 記    |
| 4. 土 木 費    |                     | 1,352,832.469  | 30,600,000   | 1,383,432.469 |               |           |        |
| 7 災 害 土 木 費 |                     | 865,444.359    | 30,600,000   | 896,044.359   |               |           |        |
|             | 8 昭 和 24 年 復<br>旧 費 | -              | 30,600,000   | 30,600,000    | (4) 旅 費       | 225,000   | 普通旅費   |
|             |                     |                |              |               | (5) 職 員 手 当   | 108,000   | 超過勤務手当 |
|             |                     |                |              |               | (1) 賃 金       | 5,292,000 |        |
|             |                     |                |              |               | (11) 消 耗 品 費  | 229,800   |        |
|             |                     |                |              |               | (2) 燃 料 費     | 57,450    |        |
|             |                     |                |              |               | (3) 食 糧 費     | 68,940    |        |
|             |                     |                |              |               | (4) 印 刷 製 本 費 | 80,430    |        |
|             |                     |                |              |               | (5) 光 熱 水 費   | 34,470    |        |
|             |                     |                |              |               | (6) 通 信 運 搬 費 | 188,370   |        |
|             |                     |                |              |               | (7) 手 数 料     | 91,920    |        |

(4)

|            |                  |             |             |             |            |             |           |
|------------|------------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-----------|
|            |                  |             |             |             | (20) 燃料及損料 | 57,450      |           |
|            |                  |             |             |             | (23) 修繕料   | 177,720     |           |
|            |                  |             |             |             | (24) 工市請員費 | 18,093,000  | 災害復旧工事請員費 |
|            |                  |             |             |             | (25) 備品費   | 57,450      |           |
|            |                  |             |             |             | (26) 廢材料費  | 5,733,000   |           |
|            |                  |             |             |             | (33) 保險料   | 105,000     | 勞災保險料     |
| 6 社会及労働施設費 |                  | 547,769,192 | 1,500,000   | 549,269,192 |            |             |           |
| 8 児童福祉費    |                  | 98,926,817  | 1,500,000   | 100,426,817 |            |             |           |
|            | 17 有子未亡人接護費      | -           | 1,500,000   | 1,500,000   | (34) 貸付金   | 1,500,000   | 生業資金貸付金   |
| 8 産業経済費    |                  | 761,755,806 | 100,000,000 | 861,755,806 |            |             |           |
| 8 商工業費     |                  | 82,489,675  | 100,000,000 | 182,489,675 |            |             |           |
|            | 13 中小企業振興運用資金設定費 | -           | 100,000,000 | 100,000,000 | (35) 貸付金   | 100,000,000 |           |
| 13 借入金     |                  | 215,826,566 | 180,346,000 | 396,172,566 |            |             |           |
| 4 繰出金      |                  | 72,039,866  | 180,346,000 | 252,385,866 |            |             |           |

|      |                 |               |             |               |           |             |  |
|------|-----------------|---------------|-------------|---------------|-----------|-------------|--|
|      | 住宅建設事業<br>会計繰出金 | 6,465,245     | 180,346,000 | 186,811,245   | (34)他会計繰出 | 180,346,000 |  |
| 歳出合計 |                 | 5,806,875,942 | 312,446,000 | 6,119,321,942 |           |             |  |

歳入歳出差引  
 残金あり

昭和25年8月25日提出

神奈川縣知事 内山 岩太郎

定縣第49號議案

(6)

昭和25年度神奈川縣住宅建設事業費歲入歲出追加予算

歲入

| 款 | 項        | 目       | 既提出<br>累計額  | 追加<br>予算額   | 計           | 各目明細 |    |    |
|---|----------|---------|-------------|-------------|-------------|------|----|----|
|   |          |         |             |             |             | 節    | 金額 | 附記 |
| 1 | 住宅建設事業收入 |         | 291,318,180 | 360,692,000 | 652,010,180 |      |    |    |
| 1 | 公營企業收入   |         | 41,801,232  | 180,346,000 | 222,147,232 |      |    |    |
|   |          | 三分讓住宅收入 | -           | 180,346,000 | 180,346,000 |      |    |    |
| 3 | 繰入金      |         | 6,465,245   | 180,346,000 | 186,811,245 |      |    |    |
|   |          | 一般會計繰入金 | 6,465,245   | 180,346,000 | 186,811,245 |      |    |    |
|   | 歲入合計     |         | 291,318,180 | 360,692,000 | 652,010,180 |      |    |    |

| 款 項 | 目         | 歲 出            |             | 計           | 各 目 明 細  |   |
|-----|-----------|----------------|-------------|-------------|----------|---|
|     |           | 既 進 出<br>累 計 額 | 迄 予<br>算 額  |             | 節        | 金 額   |
| 1   | 住宅建設事業費   | 291,318,180    | 360,692,000 | 652,010,180 |          |   |
| 5   | 分讓住宅建設事業費 | -              | 180,346,000 | 180,346,000 |          |   |
|     | 1 職員給     | -              | 1,194,144   | 1,194,744   | (2) 職員給  | 993,288   |
|     |           |                |             |             |          | 主事給 304,284円<br>8級 1人 月 7,219円<br>7級 2人 月 6,269円<br>6級 1人 月 5,600円<br>技師給 689,004円<br>10級 1人 月 9,573円<br>9級 2人 月 7,426円<br>8級 2人 月 6,824円<br>7級 3人 月 6,448円 |
|     |           |                |             |             | (3) 給料   | 201,456   |
|     |           |                |             |             |          | 雇給<br>6級 2人 月 4,729円<br>4級 2人 月 3,667円  |
|     | 2 諸手当     | -              | 820,171     | 820,171     | (5) 職員手当 | 820,171   |
|     |           |                |             |             |          | 勤務地手当 427,543円<br>扶養手当 230,400円<br>超過勤務手当 162,228円  |
|     | 3 建設費     | -              | 178,331,085 | 178,331,085 | (4) 旅費   | 384,000   |
|     |           |                |             |             |          | 普通旅費  |

( 8 )

|      |          |   |             |             |             |             |           |
|------|----------|---|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|
|      |          |   |             |             | (9)賃 金      | 825,000     |           |
|      |          |   |             |             | (11)消耗品費    | 85,800      |           |
|      |          |   |             |             | (12)燃料費     | 90,000      |           |
|      |          |   |             |             | (13)食糧費     | 100,000     |           |
|      |          |   |             |             | (14)印刷費     | 82,385      |           |
|      |          |   |             |             | (18)廣告料     | 128,000     |           |
|      |          |   |             |             | (19)手数料     | 250,000     |           |
|      |          |   |             |             | (20)借料及損料   | 104,000     |           |
|      |          |   |             |             | (23)修繕料     | 112,000     |           |
|      |          |   |             |             | (24)工事請負費   | 149,400,000 | 住宅建設工事請負費 |
|      |          |   |             |             | (25)施設費     | 25,000,000  | 土地購入費     |
|      |          |   |             |             | (31)補償金及補償金 | 1,760,000   | 物件補償金     |
|      |          |   |             |             | (33)保険料     | 9,900       | 失業保険料     |
| 6繰出金 |          | - | 180,346,000 | 180,346,000 |             |             |           |
|      | 1一般会計繰出金 | - | 180,346,000 | 180,346,000 | (24)地会計繰出   | 180,346,000 |           |

|      |             |             |             |  |  |  |
|------|-------------|-------------|-------------|--|--|--|
| 歳出合計 | 291,318,180 | 360,692,000 | 652,010,180 |  |  |  |
|------|-------------|-------------|-------------|--|--|--|

歳入歳出差引

残金なし

昭和25年3月25日提出

神奈川県知事 内山岩太郎

775013





定額追第50号議案

神奈川縣起債利息定率及び償還方法

次の事業費に充つるため起債する。

1 起債目的及び金額

災害復旧債 昭和24年復旧費(不費) 30,600,000円

2 借入利率 借入先と協定する。

3 借入先 大蔵省又は其の他

4 借入方法 債券発行又は普通貸借

5 借入時期 昭和25年度、但し工事其の他の都合により其の一部若くは全部を翌年度に繰越起債してもよい。

6 償還期間 借入先の貸付条件による。但し財政の都合により償還年限を短縮し繰上をなし又は低利債に借替えることができる。

7 償還財源 一般歳入

8 財界の状況其の他の事由により本起債の借入を不利と認められる場合は短期借入をな

し一時本起價にかえることができる。

昭和25年3月25日提出

神奈川縣知事 内山岩太郎

定縣迨第五十一號議案

神奈川縣職員定数條例の一部を改正する  
條例

神奈川縣職員定数條例（昭和二十四年八月神奈川縣條例第四十六号）の一部を次のように改正する。

|      |        |        |        |        |   |
|------|--------|--------|--------|--------|---|
| 第二條中 | 知      | 事      | 大、一三五人 | を      | 知 |
| 事    | 六、一五一人 | に、     | 計      | 七、七三八人 |   |
| を    | 計      | 七、七四四人 | に      | 改める。   |   |

附 則

この條例は、公布の日から施行し、昭和二十五年四月一日から適用する。

昭和二十五年三月二十五日 提出

神奈川縣知事 内山岩太郎

(14)

定縣追第五十二號議案

神奈川縣縣稅賦課徵收條例の暫定措置に關する條例

神奈川縣縣稅賦課徵收條例へ昭和二十三年七月神奈川縣條例第五十九号の規定にかゝわらず、昭和二十五年四月一日以降、酒の製造業者がその製造にかゝる酒を、並びに仲介業者及び小賣業者が買ひ受けにかゝる酒を自から消費し若くは贈与した分、及び販賣にかゝる酒に対する酒消費税は、これを賦課徵收しない。

附 則

この條例は公布の日から施行し、昭和二十五年四月一日から適用する。

昭和二十五年三月二十五日提出

神奈川縣知事 内山 岩太郎

昭和25年2月神奈川県議會定例會追加議案

(定縣追第47号議案)

定縣追第47號議案

昭和24年度神奈川縣歲入歲出追加予算

歲 入

| 款 項      | 目        | 既 提 出<br>果 計 額   | 追 加<br>予 算 額    | 計                | 各 目 明 細  |            |
|----------|----------|------------------|-----------------|------------------|----------|------------|
|          |          |                  |                 |                  | 節        | 金 額 附 記    |
| 8 繰 越 金  |          | 円<br>565,432,459 | 円<br>25,000,000 | 円<br>590,432,459 |          | 円          |
| 1 前年度繰越金 |          | 565,432,459      | 25,000,000      | 590,432,459      |          |            |
|          | 1 前年度繰越金 | 565,432,459      | 25,000,000      | 590,432,459      | 0 前年度繰越金 | 25,000,000 |
| 歲 入 合 計  |          | 5,770,214,671    | 25,000,000      | 5,795,214,671    |          |            |

歳 出

| 款 項     | 目               | 既 提 出<br>累 計 額 | 追 加<br>予 算 額 | 計             | 各 目 明 細           |            |            |
|---------|-----------------|----------------|--------------|---------------|-------------------|------------|------------|
|         |                 |                |              |               | 節                 | 金 額        | 附 記        |
| 8       | 産業経済費           | 714,907,768    | 25,000,000   | 739,907,768   |                   |            |            |
| 10      | 貿易振興費           | 39,605,168     | 25,000,000   | 64,605,168    |                   |            |            |
|         | 4 貿易関係団体<br>助成費 | 35,871,834     | 25,000,000   | 60,871,834    | (3) 買取金補助及<br>交付金 | 25,000,000 | 日本貿易博覧会補助金 |
| 歳 出 合 計 |                 | 5,770,214,671  | 25,000,000   | 5,795,214,671 |                   |            |            |

歳入歳出差引

残金なし

昭和25年3月25日提出

神奈川県知事 内山岩太郎

昭和二十五年  
度

橫濱市豫算關係議案



豫算關係議案

市第四〇号議案

特別會計統合の件

市第四一号議案

自昭和二十五年  
至昭和二十七年  
横濱市市庁舎建設費継続年期及支出方法設定の件

市第四二号議案

自昭和二十五年  
至昭和三十四年  
横濱市都市計畫第一期下水道事業費継続年期及支出方法設定の件

市第四三号議案

横濱市教育委員会委員の報酬及び費用弁償條例制定の件

市第四四号議案

横濱市教育委員会事務局職員定数條例中改正の件

市第四五号議案

横濱市二ツ橋學園條例中改正の件

市第四六号議案

一時借入金の件 (一般會計所屬各經濟)

水第五号議案

一時借入金の件 (水道事業)

交第五号議案

一時借入金の件 (交通事業)

右九議案を提出します

昭和二十五年三月四日

横濱市長 石河京市

2月30日  
原案可決

市第四〇號議案

特別會計統合の件

昭和二十五年度から特別會計横濱市競馬事業費を特別會計横濱市特別収益事業費に統合する。

昭和二十五年三月四日提出

横濱市長 石 河 京 市

提案理由

収益事業である競馬事業費は特別収益事業費に整理統合するのを適當と認めるので本案を提出する次第である。

775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNNDG NO.

市第41號議案

自昭和25年度 横濱市市廳舎建設費繼續年期及支出方法設定の件  
至昭和27年度

自昭和25年度 横濱市市廳舎建設費繼續年期及支出方法を次のように定める。  
至昭和27年度

自昭和年25度 横濱市市廳舎建設費繼續年期及支出方法  
至昭和年27度

| 年 度         | 支 出 額       | 説 明        |             |            |            |             | 財 源 説 明     |
|-------------|-------------|------------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|
|             |             | 用 地 費      | 建 築 費       | 初 度 調 査 費  | 設 計 監 督 費  | 計           |             |
| 昭 和 2 5 年 度 | 249,815,240 | 90,000,000 | 145,800,000 | 3,970,000  | 10,045,240 | 249,815,240 | 249,815,240 |
| 昭 和 2 6 年 度 | 153,488,030 | —          | 145,800,000 | 3,470,000  | 4,218,030  | 153,488,030 | 153,488,030 |
| 昭 和 2 7 年 度 | 104,936,730 | —          | 97,200,000  | 2,560,000  | 5,176,730  | 104,936,730 | 104,936,730 |
| 合 計         | 508,240,000 | 90,000,000 | 388,800,000 | 10,000,000 | 19,440,000 | 508,240,000 | 508,240,000 |

昭 和 2 5 年 3 月 4 日 提 出

横 濱 市 長 石 河 京 市

市第41號議案

自昭和25年度 横濱市市廳舎建設費繼續年期及支出方法設定の件  
至昭和27年度

自昭和25年度 横濱市市廳舎建設費繼續年期及支出方法を次のように定める。  
至昭和27年度

自昭和年25年度 横濱市市廳舎建設費繼續年期及支出方法  
至昭和年27年度

| 年 度         | 支 出 額       | 説 明        |             |            |            |             | 財 源 説 明     |
|-------------|-------------|------------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|
|             |             | 用 地 費      | 建 築 費       | 初 度 調 査 費  | 設 計 監 督 費  | 計           | 市 債         |
| 昭 和 2 5 年 度 | 249,815,240 | 90,000,000 | 145,800,000 | 3,970,000  | 10,045,240 | 249,815,240 | 249,815,240 |
| 昭 和 2 6 年 度 | 153,488,030 | —          | 145,800,000 | 3,470,000  | 4,218,030  | 153,488,030 | 153,488,030 |
| 昭 和 2 7 年 度 | 104,936,730 | —          | 97,200,000  | 2,560,000  | 5,176,730  | 104,936,730 | 104,936,730 |
| 合 計         | 508,240,000 | 90,000,000 | 388,800,000 | 10,000,000 | 19,440,000 | 508,240,000 | 508,240,000 |

昭 和 2 5 年 3 月 4 日 提 出

横 濱 市 長 石 河 京 市

| 用地費内譯 |              |             |             |            |             |
|-------|--------------|-------------|-------------|------------|-------------|
| 區     | 分            | 昭和25年度      | 昭和26年度      | 昭和27年度     | 計           |
| 施     | 設            | 80,000,000  | —           | —          | 80,000,000  |
| 移     | 轉            | 10,000,000  | —           | —          | 10,000,000  |
|       | 補償費計         | 90,000,000  | —           | —          | 90,000,000  |
| 建築費内譯 |              |             |             |            |             |
| 區     | 分            | 昭和25年度      | 昭和26年度      | 昭和27年度     | 計           |
| 建     | 物            | 114,300,000 | 114,300,000 | 76,200,000 | 304,800,000 |
| 電     | 氣            | 16,800,000  | 16,800,000  | 11,200,000 | 44,800,000  |
| 給     | 水、衛生、機械設備工事費 | 14,700,000  | 14,700,000  | 9,800,000  | 39,200,000  |
|       | 計            | 145,800,000 | 145,800,000 | 97,200,000 | 388,800,000 |

初度調弁費内譯

| 區分  | 昭和25年度    | 昭和26年度    | 昭和27年度    | 計          |
|-----|-----------|-----------|-----------|------------|
| 備品費 | 3,970,000 | 3,470,000 | 2,560,000 | 10,000,000 |

設計監督費内譯

| 區分    | 昭和25年度     | 昭和26年度    | 昭和27年度    | 計          |
|-------|------------|-----------|-----------|------------|
| 設計監督費 | 10,045,240 | 4,218,030 | 5,176,730 | 19,440,000 |

### 横濱市市廳舎建設計畫說明

#### 一、建設の理由

本市市廳舎は戦時中の措置として舊老松小學校校舎を轉用し其の事務を行つて來たが市廳舎は戦災の爲焼失して終戦を迎へ其の後今日迄多大の不便を忍び其のまゝ現在に至つたのであるが使用中の廳舎（老松町所在）を教育施設に返還するため已むなく一時神奈川區反町所在の日本貿易博覽會施設の一部を假廳舎に充當する豫定であるが、この建物は木造建築で火災及び其の他の災害の危険大であり且恒久的な廳舎として不適當であるので、國際港としての本市市廳舎に相應しい本建築を計畫したのである。

一、敷地面積 八、〇〇〇坪

#### 二、規模

|             |            |      |
|-------------|------------|------|
| 第一庁舎        | 延坪         | 八三六坪 |
| 延坪          | 四、五七九坪     |      |
| 鐵骨鋼筋コンクリート造 | 地下一階、地上五階建 |      |
| 市議會庁舎       | 延坪         | 一八一坪 |
| 延坪          | 七四一坪       |      |
| 鐵骨鋼筋コンクリート造 | 地下一階、地上四階建 |      |

|           |         |         |                             |
|-----------|---------|---------|-----------------------------|
|           |         | 第二庁舎    |                             |
|           |         | 延坪      | 五六一坪                        |
|           |         | 延坪      | 二、六八〇坪                      |
|           |         | 構造      | 鉄骨鋼筋コンクリート造                 |
|           |         | 延坪      | 地下一階、地上四階建                  |
|           |         | 延坪      | 一、五七八坪                      |
|           |         | 延坪      | 八、〇〇〇坪                      |
|           |         | 計       |                             |
|           |         | 懸賞募集による |                             |
| 三、建築意匠    |         | 壁       | 下部石貼、上部タイル貼                 |
| 四、建築仕上の概要 | 1、外部仕上  | 建物背面壁体  | 一時モルタル塗仕上                   |
|           | 2、内部仕上  | 主なる室    | 床寄木張、腰羽目ワニス仕上、壁、天井 プラスター塗仕上 |
|           |         | 一般事務室   | 床フローリングプロツク、木部ペンキ塗仕上        |
|           |         |         | 壁、天井 プラスター塗仕上               |
|           |         | 市会議場    | 床寄木張、腰羽目ワニス仕上、壁、天井 プラスター塗仕上 |
| 3、建具      | 外部      |         | スチールサツシ                     |
|           | 内部      |         | 木製ペンキ塗仕上                    |
| 五、建築用地    |         | 地盤の地耐力  | 一平方米一〇〇噸以上とする               |
| 六、建築費の内訳  | 1、建物体工事 | (坪単價)   | 二四、〇〇〇円                     |
|           |         |         | 一九二、〇〇〇、〇〇〇円                |



|                              |             |                  |                  |                  |             |                  |                    |                                 |                            |                  |                  |                    |                              |  |                  |                  |                  |
|------------------------------|-------------|------------------|------------------|------------------|-------------|------------------|--------------------|---------------------------------|----------------------------|------------------|------------------|--------------------|------------------------------|--|------------------|------------------|------------------|
| 5、電<br>氣<br>設<br>備<br>工<br>事 | 雜<br>工<br>事 | 塗<br>裝<br>工<br>事 | 左<br>官<br>工<br>事 | 建<br>具<br>工<br>事 | 木<br>工<br>事 | 假<br>設<br>工<br>事 | 4、内<br>裝<br>工<br>事 | モ<br>ル<br>タ<br>ル<br>塗<br>工<br>事 | タ<br>イ<br>ル<br>貼<br>工<br>事 | 石<br>貼<br>工<br>事 | 假<br>設<br>工<br>事 | 3、外<br>裝<br>工<br>事 | 2、建<br>物<br>防<br>水<br>工<br>事 | 鋼<br>筋<br>コ<br>ン<br>ク<br>リ<br>ー<br>ト<br>工<br>事 | 鉄<br>骨<br>工<br>事 | 基<br>礎<br>工<br>事 | 假<br>設<br>工<br>事 |
| 五、六〇〇円                       | 一〇〇円        | 二、〇〇〇円           | 一、三〇〇円           | 一、六〇〇円           | 二、〇〇〇円      | 二〇〇円             | 七、二〇〇円             | 八〇〇円                            | 二、三〇〇円                     | 二、八〇〇円           | 四〇〇円             | 六、三〇〇円             | 六〇〇円                         | 八、〇〇〇円   | 一〇、〇〇〇円          | 四、五〇〇円           | 一、五〇〇円           |
| 四四、八〇〇、〇〇〇円                  | 八〇〇、〇〇〇円    | 一六、〇〇〇、〇〇〇円      | 一〇、四〇〇、〇〇〇円      | 一二、八〇〇、〇〇〇円      | 一六、〇〇〇、〇〇〇円 | 一、六〇〇、〇〇〇円       | 五七、六〇〇、〇〇〇円        | 六、四〇〇、〇〇〇円                      | 一八、四〇〇、〇〇〇円                | 二二、四〇〇、〇〇〇円      | 三、二〇〇、〇〇〇円       | 五〇、四〇〇、〇〇〇円        | 四、八〇〇、〇〇〇円                   | 六四、〇〇〇、〇〇〇円                                    | 八〇、〇〇〇、〇〇〇円      | 三六、〇〇〇、〇〇〇円      | 一二、〇〇〇、〇〇〇円      |

七、建設計畫年度割

| 區分               | 名稱       | 延坪     | 建築費         | 備考 |
|------------------|----------|--------|-------------|----|
| 昭和二十五年<br>昭和二十六年 | 第一庁舎中央部  | 三、〇〇〇  | 一四五、八〇〇、〇〇〇 |    |
|                  | 第一庁舎兩翼部  | 二、二二七  | 一〇八、二三二、二〇〇 |    |
|                  | 第二庁舎左翼部  | 七七三    | 三七、五六七、八〇〇  |    |
| 小計               |          | 三、〇〇〇  | 一四五、八〇〇、〇〇〇 |    |
| 6、給排水、衛生、機械設備工事  |          |        |             |    |
|                  | 電燈照明工事   | 二、〇〇〇  | 一六、〇〇〇、〇〇〇  |    |
|                  | 変電所設備工事  | 三〇〇    | 二、四〇〇、〇〇〇   |    |
|                  | 電話設備工事   | 三、一〇〇  | 二四、八〇〇、〇〇〇  |    |
|                  | 電氣時計設備工事 | 二〇〇    | 一、六〇〇、〇〇〇   |    |
| 6、給排水、衛生、機械設備工事  |          |        |             |    |
|                  | 暖房設備工事   | 二、五〇〇  | 二〇、〇〇〇、〇〇〇  |    |
|                  | 給排水設備工事  | 九〇〇    | 七、二〇〇、〇〇〇   |    |
|                  | 衛生設備工事   | 一、一〇〇  | 八、八〇〇、〇〇〇   |    |
|                  | ガス設備工事   | 四〇〇    | 三、二〇〇、〇〇〇   |    |
| 總計               |          | 四八、六〇〇 | 三八八、八〇〇、〇〇〇 |    |

|  |             |                   |                |                           |
|--|-------------|-------------------|----------------|---------------------------|
|  | 昭和二十七年<br>計 | 第二庁舎<br>右中央<br>翼部 | 二、〇〇〇<br>八、〇〇〇 | 九七、二〇〇、〇〇〇<br>三八八、八〇〇、〇〇〇 |
|--|-------------|-------------------|----------------|---------------------------|

市第42號議案

自昭和25年度至昭和34年度 横濱市都市計畫第一期下水道事業費繼續年期及支出方法設定の件

自昭和25年度至昭和34年度 横濱市都市計畫第一期下水道事業費繼續年期及支出方法を次のように定める。

自昭和25年度至昭和34年度 横濱市都市計畫第一期下水道事業費繼續年期及支出方法

| 年 度    | 支 出 額      | 説 明        |           |            | 財 源 説 明    |            |            |        |            |
|--------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|------------|--------|------------|
|        |            | 工 事 費      | 設計監督費     | 計          | 國庫補助       | 市 債        | 受 益 者 金    | 雜 收 入  | 計          |
| 昭和25年度 | 62,000,000 | 53,658,000 | 8,342,000 | 62,000,000 | —          | 62,000,000 | —          | —      | 62,000,000 |
| 昭和26年度 | 68,500,000 | 60,108,000 | 8,392,000 | 68,500,000 | 26,967,000 | 41,533,000 | —          | —      | 68,500,000 |
| 昭和27年度 | 68,500,000 | 60,198,000 | 8,302,000 | 68,500,000 | 26,966,000 | 41,534,000 | —          | —      | 68,500,000 |
| 昭和28年度 | 75,000,000 | 65,828,000 | 9,172,000 | 75,000,000 | 29,133,000 | 45,867,000 | —          | —      | 75,000,000 |
| 昭和29年度 | 72,000,000 | 62,948,000 | 9,052,000 | 72,000,000 | 14,796,000 | 17,194,000 | 40,000,000 | 10,000 | 72,000,000 |
| 昭和30年度 | 71,500,000 | 62,598,000 | 8,902,000 | 71,500,000 | 14,629,000 | 16,861,000 | 40,000,000 | 10,000 | 71,500,000 |
| 昭和31年度 | 71,000,000 | 62,398,000 | 8,602,000 | 71,000,000 | 13,660,000 | 27,320,000 | 30,000,000 | 20,000 | 71,000,000 |

| 年 度    | 支 出 額       | 說 明         |            |             | 財 源 說 明     |             |             |         |             |
|--------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------|-------------|
|        |             | 工 事 費       | 設 計 監 督 費  | 計           | 國 庫 補 助     | 市 債         | 受 益 者 金     | 雜 收 入   | 計           |
| 昭和32年度 | 71,000,000  | 62,298,000  | 8,702,000  | 71,000,000  | 13,660,000  | 27,320,000  | 30,000,000  | 20,000  | 71,000,000  |
| 昭和33年度 | 70,000,000  | 61,798,000  | 8,202,000  | 70,000,000  | 16,666,000  | 33,314,000  | 20,000,000  | 20,000  | 70,000,000  |
| 昭和34年度 | 42,500,000  | 37,198,000  | 5,302,000  | 42,500,000  | 11,493,000  | 22,987,000  | 8,000,000   | 20,000  | 42,500,000  |
| 合 計    | 672,000,000 | 589,030,000 | 82,970,000 | 672,000,000 | 167,970,000 | 335,930,000 | 168,000,000 | 100,000 | 672,000,000 |

昭和 25 年 3 月 4 日 提 出

橫 濱 市 長 石 河 京 市

工 事 費 内 譯

| 種 別       | 年 度 | 25 年度      | 26 年度      | 27 年度      | 28 年度      | 29 年度      | 30 年度      | 31 年度      | 32 年度      | 33 年度      | 34 年度      | 合 計         |
|-----------|-----|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 管 渠 費     |     | 31,600,000 | 31,140,000 | 29,810,000 | 35,100,000 | 59,650,000 | 59,500,000 | 59,500,000 | 59,500,000 | 59,100,000 | 35,100,000 | 460,000,000 |
| 潮田唧筒場費    |     | 13,000,000 | 16,870,000 | —          | —          | —          | —          | —          | —          | —          | —          | 29,870,000  |
| 市場唧筒場費    |     | —          | —          | 19,600,000 | 19,330,000 | —          | —          | —          | —          | —          | —          | 38,930,000  |
| 建 物 費     |     | 2,410,000  | 7,750,000  | 2,090,000  | 7,750,000  | 250,000    | 250,000    | 250,000    | 250,000    | 250,000    | 250,000    | 21,500,000  |
| 補 償 費     |     | 2,100,000  | 200,000    | 4,550,000  | 200,000    | 200,000    | 200,000    | 200,000    | 200,000    | 200,000    | 200,000    | 8,250,000   |
| 機 械 器 具 費 |     | 3,100,000  | 2,700,000  | 2,700,000  | 2,000,000  | 1,400,000  | 1,200,000  | 1,000,000  | 900,000    | 800,000    | 200,000    | 16,000,000  |
| 諸 費       |     | 1,448,000  | 1,448,000  | 1,448,000  | 1,448,000  | 1,448,000  | 1,448,000  | 1,448,000  | 1,448,000  | 1,448,000  | 1,448,000  | 14,480,000  |
| 合 計       |     | 53,658,000 | 60,108,000 | 60,198,000 | 65,828,000 | 62,948,000 | 62,598,000 | 62,398,000 | 62,298,000 | 61,798,000 | 37,198,000 | 589,030,000 |

設 計 監 督 費 内 譯

| 種 別       | 年 度 | 25 年度     | 26 年度     | 27 年度     | 28 年度     | 29 年度     | 30 年度     | 31 年度     | 32 年度     | 33 年度     | 34 年度     | 合 計        |
|-----------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 給 料 及 諸 給 |     | 5,525,000 | 5,539,000 | 5,525,000 | 6,054,000 | 5,974,000 | 5,876,000 | 5,677,000 | 5,743,000 | 5,525,000 | 3,500,000 | 54,938,000 |
| 需 用 費     |     | 2,817,000 | 2,853,000 | 2,777,000 | 3,118,000 | 3,078,000 | 3,026,000 | 2,925,000 | 2,959,000 | 2,677,000 | 1,802,000 | 28,032,000 |
| 合 計       |     | 8,342,000 | 8,392,000 | 8,302,000 | 9,172,000 | 9,052,000 | 8,902,000 | 8,602,000 | 8,702,000 | 8,202,000 | 5,302,000 | 82,970,000 |

### 横濱市都市計畫第一期下水道事業計畫說明

近代都市の特色は人口の集中と産業の殷盛にある。その必然の結果として都市保健施設の完備が要請される、こととなり、その根幹となるのは上下水道施設であつて共に相助け合つて初めて都市衛生の完璧を期し得るのである。

横濱市における上下水道事業の内、上水道は明治十八年着工を重ねて第四回擴張工事に至り、全國各都市に先進しているが、下水道施設に至つては關東大震災復興に當り、一部施行したるのみにて實に遺憾に耐えない。

昭和二十年五月大空襲によつて市の大半は潰滅したが、終戦後直に戦災の復舊に着手すると共に本市再建の復興計畫を立てるに當り、その一環として下水道事業を採用し、昭和三年以來行つた基本調査をもととして全体處理計畫を樹立したのである。

一面區劃整理事業も逐次進展を見つゝあるが、同整理地區中最も下水道の急施を必要とする鶴見區潮田、平安地區に對し下水道改良事業を起し順次必要に應じ、全市域に對し下水道の普及を圖り一日も早く衛生都市の實現に寄與したいと思ふ。

#### 一、計畫の概要

鶴見區潮田、平安地區は横濱市の東端、川崎市に接する地域にして海岸地帯は所謂京濱大工場地帯にし

て、この下水道計畫地域はその輕工業地帯として將來を刮目せられてゐる。然しその地域の大半は低地で常に濕潤してゐるが、今次大戰にて殆んど焼失したのを機會として一部低地は鶴見川の浚渫土砂による埋立など相當變貌しつゝある。

現在この地域には殆んど見るべき下水道なく降雨の時は隨所に浸水を見る状態にて、その施行の最も急を要するものがある。依つて茲に東は川崎市境、西は鶴見川、南は産業道路、北は國有鐵道東海道線路に圍まれた地域、面積約二七五「ヘクタール」人口約一〇〇、三六〇人に對し、總工費六七二、〇〇〇、〇〇〇圓を以て下水道計畫を立てたのである。この地域は北部の鶴見川土砂を以て埋立てられた平安地區と南部の元地盤のまゝの潮田地區との二つに分割して排水するのが最も經濟的であり且有効である。潮田地區においては産業道路西端に起る潮田幹線にて各枝線を收容しつゝ、潮田地區の中央を北上し、榮町地内において潮田唧筒場に入り唧筒にて鶴見川へ稀釋放流する。平安地區においては前記平安市場幹線はなお北上して同地區内枝線を合せ下末吉町地内、市場唧筒場へ至り唧筒により鶴見川へ稀釋放流する。

## 二、下水道設計基準

### イ、下水排除方式

合流法により雨水及汚水を同一管渠に收容することとした。



口、人 口

本市人口増加の状況は左に示す通りであつて終戦直後は減少の状態にあつたが、その後増加し戦前の状況に復しつゝある。

|    |        |         |
|----|--------|---------|
| 大正 | 九年     | 五〇二、四一三 |
| 同  | 十四年    | 五一五、〇七七 |
| 昭和 | 五年     | 六二〇、三〇六 |
| 同  | 十年     | 七〇四、二九〇 |
| 同  | 十五年    | 九六八、〇九一 |
| 同  | 二十年十一月 | 六二三、六五八 |
| 同  | 二十四年九月 | 九一一、四六一 |

本計畫地區は戦災復興事業により建築制限を行つていたがこの程換地完了したので本建築の建設せらるゝ機運濃く道路工事と並行し、上下水道の要望極めて大である。依つて各地區の實情に應じて人口密度を次の四通りに區分し、汚水量の算定に資することゝした。

潮田、平安地區人口表

ハ、汚水量

各家庭、小工場その他より排出せらる、汚水量は、本市上水道及井戸などの使用水量から蒸發その他により下水道へ到達しない水量を控除し、これに下水道への地下水の浸入量を加え地域による人口密度を考慮して算定するのである。本計畫においては次の通りの標準を設けた。

一人一日平均汚水量

二〇〇〇「リットル」

| 合計      | 平安     |       |                |                |                | 潮田     |                |                | 階級別                          | 人口密度                           | 排水面積   | 人口     |
|---------|--------|-------|----------------|----------------|----------------|--------|----------------|----------------|------------------------------|--------------------------------|--------|--------|
|         | 計      | C     | B <sub>2</sub> | B <sub>1</sub> | A <sub>2</sub> | 計      | B <sub>2</sub> | B <sub>1</sub> |                              |                                |        |        |
| 二七四五五一  | 一二〇八五一 | 一八九七九 | 二九〇三五          | 二九九二四          | 四二九一三          | 一五三七〇〇 | 三九五七〇          | 一一四一三〇         | 四〇〇〇 <small>（ヘクタール当）</small> | 一一四一三〇 <small>（ヘクタール当）</small> | 四五、六五二 | 一一、八七一 |
| 一〇〇、三六一 | 四二、八三八 | 二、八四七 | 八、七一一          | 一一、九六九         | 一九、三一          | 五七、五二三 | 一一、八七一         |                |                              |                                |        |        |

一人一日最大汚水量

二六〇「リットル」

一人一時間最大汚水量

一五二「リットル」

## ニ、雨水量

雨水量は横濱測候所における昭和四年から昭和二十三年迄の長期間に亘る降雨記録から最大降雨量を一時間六〇ミリとし、これを標準として算定した。

下水管に流入する雨水流量は、この計畫に於ては實驗式によつて算定することとし、地表勾配の急な地域にたいしては「ブリツクス」式を平地部にたいしては「ブユリークリーチーグラマー式」を又排水面積一「ヘクタール」未満の場合には遞減率を用いない特殊公式を採用した。

流出係数は〇・六、〇・五を用い特別の地區に限り〇・七五とする。

## 三、下水管渠

## イ、管渠の構造

下水管渠の構造は雨水渠などの特殊の場合を除きすべて暗渠式とし、排水量の多少に応じて陶管鐵筋コンクリート管及現場打鐵筋コンクリート暗渠の三種を使用する。標準として陶管は、内徑三八糎以下を用い、内徑四五糎から、内徑一四〇糎までは、鐵筋コンクリート管を内徑一四〇糎以上は現場打馬蹄形又は矩形鐵筋コンクリート暗渠とする。

#### ロ、管渠の勾配及流速

下水管内の勾配は管内の沈澱物を自掃するため晴天時における流速は毎秒〇・四米以上、降雨時における最大流速は毎秒一、八米以内になるように勾配を決定する。

管の断面積の計算にあたっては、その受け持つ排水面積及豫想人口を基として「クッター」公式を用いて算定する。

#### 四、計畫の概要

##### 一、下水道幹線

潮田幹線は産業道路西端に始まり、途中枝線を集めつゝ潮田地区の中央を北上し、内径一九五糎暗渠となつて潮田唧筒場へ入るのである。

川崎運河より東の朝日町地内の下水は、伏越にて運河を渡り西へ進んで潮田幹線と合流する。

平安市場幹線は、潮田唧筒場に始まり北へ進んで平安地区よりの下水を收容しつゝ、菅澤町を経て京濱國道を北へ渡り京濱鐵道、國有鐵道東海道線及貨物線の下を横断して、下末吉町に至り内径二一〇糎暗渠となつて市場ポンプ場へ入る。

##### 二、唧筒場

##### (一) 潮田唧筒場

この唧筒場は潮田地区内榮町二丁目地内に設け、敷地面積は約四六三〇平方メートルである。その排水面積一五三・七「ヘクタール」計畫人口五七、五二三人に對するもので、その流集下水量は晴天時一日平均汚水量は毎秒〇・一三三立方メートル、降雨時最大下水量毎秒四・五八五立方メートルである。

こゝにて下水は、沈砂除塵作用を受けた後、排水唧筒によつて鶴見川へ放流される。この唧筒場は將來中繼唧筒場としてその流集下水を市場唧筒場へ壓送する役目を有するものである。

下水唧筒室は鐵筋コンクリート平家建て、中央部地下に唧筒井を設ける。

唧筒は豎軸電動機直結渦卷型及停電時に備え一部デイズル機關を設備する。

## (二) 市場唧筒場

この唧筒場は鶴見區下末吉町内に設け敷地面積四八、〇〇〇平方メートルである。

これは將來の下水處分を考慮して擴張用地を残したのである。

この計畫において、唧筒場の排水面積は一二〇、八五一「ヘクタール」計畫人口四二、八三八人に對するもので、その流集下水量は、晴天時一日平均汚水量は毎秒〇、〇九九立方メートル、降雨時最大下水量毎秒四、一二〇立方メートルである。

こゝにて流集下水は沈砂除塵作用を受けたのち、排水唧筒によつて鶴見川へ放流される。

下水唧筒室は鐵筋コンクリート平家建て地下唧筒井を設ける。唧筒は豎軸電動機直結渦卷型及停電時に

備え一部ダイゼル機關を設備する。

横濱市都市計畫第一期下水道事業(潮田、平安地區)

一、總工費 六億七千貳百萬圓

(昭和二十五年四月一日着工  
昭和三十五年三月末日竣功) 十ヶ年繼續事業

二、年度割事業費

| 年 度      | 事 業 費        |
|----------|--------------|
| 昭和二十五年年度 | 六二、〇〇〇、〇〇〇 円 |
| 同 二十六年年度 | 六八、五〇〇、〇〇〇   |
| 同 二十七年年度 | 六八、五〇〇、〇〇〇   |
| 同 二十八年度  | 七五、〇〇〇、〇〇〇   |
| 同 二十九年度  | 七二、〇〇〇、〇〇〇   |
| 同 三十年度   | 七一、五〇〇、〇〇〇   |
| 同 三十一年度  | 七一、〇〇〇、〇〇〇   |
| 同 三十二年度  | 七一、〇〇〇、〇〇〇   |
| 同 三十三年度  | 七〇、〇〇〇、〇〇〇   |
| 同 三十四年度  | 四二、五〇〇、〇〇〇   |

合計 六七二、〇〇〇、〇〇〇 円

三、事業費内譯

設計監督費

八千貳百九拾七萬圓

工事費

五億八千九百參萬圓

設計監督費内譯

給料及諸給

五四、九三八、〇〇〇圓

需用費

二八、〇三二、〇〇〇圓

計

八二、九七〇、〇〇〇圓

工事費内譯書

一、管渠工事費

| 名 | 称   | 形状寸法  | 員数     | 單位 | 單價       | 金額            | 摘要    |
|---|-----|-------|--------|----|----------|---------------|-------|
| 土 | 管   | 内径三〇糎 | 二八、五二八 | 米  | 二、七三〇・〇〇 | 七七、八八一、四四〇・〇〇 |       |
| 同 |     |       | 二、〇〇〇  | 同  | 一、七七三・〇〇 | 三、五四六、〇〇〇・〇〇  | 撤去管使用 |
| 同 |     |       | 一〇、五四六 | 同  | 三、六五三・〇〇 | 三八、五二四、五三八・〇〇 |       |
| 同 |     |       | 七〇〇    | 同  | 一、九六七・〇〇 | 一、三七六、九〇〇・〇〇  | 撤去管使用 |
| 混 | 凝土管 | 同 四五同 | 三、九〇五  | 同  | 三、四四〇・〇〇 | 一三、四三三、二〇〇・〇〇 |       |
| 同 |     |       | 一、四〇〇  | 同  | 二、六七一・〇〇 | 三、七三九、四〇〇・〇〇  | 撤去管使用 |
| 同 |     |       | 二、八九二  | 同  | 四、四一六・〇〇 | 一二、七七一、〇七二・〇〇 |       |
| 同 |     |       | 六七〇    | 同  | 三、四八二・〇〇 | 二、三三二、九四〇・〇〇  | 撤去管使用 |
| 同 |     |       | 三、九五八  | 同  | 五、五〇八・〇〇 | 二一、八〇〇、六六四・〇〇 |       |
| 同 |     |       | 一、二六〇  | 同  | 四、〇七四・〇〇 | 五、一三三、二四〇・〇〇  | 撤去管使用 |
| 同 |     |       | 一、四五〇  | 同  | 七、四五七・〇〇 | 一〇、八一二、六五〇・〇〇 |       |
| 同 |     |       | 四二〇    | 同  | 五、五三二・〇〇 | 二、三二三、四四〇・〇〇  | 撤去管使用 |
| 同 |     |       | 一、六七五  | 同  | 八、九四七・〇〇 | 一四、九八六、二二五・〇〇 |       |

四六〇、〇〇〇、〇〇〇円







| 名 称         | 形狀寸法        | 員 数    | 單 位 | 單 價          | 金 額                    | 摘 要                       |
|-------------|-------------|--------|-----|--------------|------------------------|---------------------------|
| 混 凝 土 管 撤 去 | 內 徑 一 二 〇 糎 | 四 五 〇  | 米   | 一、七八八・〇〇     | 八〇四、六〇〇・〇〇             |                           |
| 開 渠 撤 去     | 中 九 一 一 同   | 七 一 〇  | 同   |              |                        |                           |
| 伏 越         |             | 一 ヶ 所  |     | 二、九五〇、〇〇〇・〇〇 | 二、九五〇、〇〇〇・〇〇           |                           |
| 砂 利 道 路 復 旧 |             | 三〇、〇〇〇 | 平 米 | 〇〇〇・〇〇       | 五、九一〇、〇〇〇・〇〇           |                           |
| 鋪 裝 道 路 復 旧 |             | 三、〇〇〇  | 同   | 一、四一五・〇〇     | 四、二四五、〇〇〇・〇〇           |                           |
| 軌 道 防 護     |             | 四 ヶ 所  |     |              | 四、五〇〇、〇〇〇・〇〇           |                           |
| 運 搬 工 事     |             |        |     |              | 二二、七五〇、〇〇〇・〇〇          |                           |
| 雜 工 事       |             |        |     |              | 二〇、三二四、九二六・〇〇          |                           |
| 二、潮田唧筒場費    |             |        |     |              |                        |                           |
| 沈 砂 池       |             |        |     |              | 八、一四五、〇〇〇 <sub>円</sub> |                           |
| 避 溢 渠       |             |        |     |              | 二、一七八、〇〇〇              | 內 徑 一 九 五 糎 延 長 八 五 米 分   |
| 唧 筒 井       |             |        |     |              | 一、九二一、〇〇〇              |                           |
| 電 氣 設 備     |             |        |     |              | 七、〇二〇、〇〇〇              | 徑 三 〇 〇 〇 耗 一 二 〇 馬 力 二 台 |
| 電 氣 設 備     |             |        |     |              | 五、八六四、〇〇〇              | 徑 八 〇 〇 〇 耗 一 二 〇 馬 力 四 台 |
| 鐵 管 工 事     |             |        |     |              | 三、六三九、〇〇〇              |                           |

|                          |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
|--------------------------|-------------------|------|-----|------|------|------|-----|-----|-----|----------|------|-----|
| 柳筒室                      | 四、建築物費            | 整地工事 | 排出渠 | 鐵管工事 | 電氣工事 | 柳筒設備 | 柳筒井 | 避溢渠 | 沈砂池 | 三、市場柳筒場費 | 整地工事 | 排出渠 |
| 一二五坪                     | イ、假建築物<br>ロ、建築物新築 |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 六〇、〇〇〇円                  |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 七、五〇〇、〇〇〇円               |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 潮田柳筒場<br>鉄筋コンクリート建<br>二棟 |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 一九、〇〇〇、〇〇〇円              |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 二、五〇〇、〇〇〇円               |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 二二、五〇〇、〇〇〇円              |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 一、三〇五、〇〇〇                |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 一、三五〇、〇〇〇                |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 三、五二一、〇〇〇                |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 六、四六八、〇〇〇                |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 九、一八〇、〇〇〇                |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 二五〇〇耗一六〇馬力<br>七〇〇耗一六〇馬力  |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 二五〇耗一六〇馬力<br>七〇〇耗一六〇馬力   |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 一、四八五、〇〇〇                |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 延一〇糧、馬蹄形<br>三〇〇米         |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 八、二八六、〇〇〇                |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 七、三三五、〇〇〇                |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 三八、九三〇、〇〇〇円              |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 一二六、〇〇〇                  |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |
| 九七七、〇〇〇                  |                   |      |     |      |      |      |     |     |     |          |      |     |